

学生の確保の見通しと学生確保に向けた取組を記載した書類

目 次

1. 新設学部を設置する大学等の現状把握・分析	2 頁
新学部等を設置するにあたって、大学等及び法人内部における現状や課題等に関する認識、及びそれに対する検討、分析	
2. 地域・社会的動向等の現状把握・分析	2 頁
新設学部等を設置するにあたって、地域や社会的動向等の法人外部における、現状や課題等に関する認識、及びそれに対する検討、分析	
3. 新設学部等の趣旨目的、教育内容、定員設定等	5 頁
上記 1. 2. の検討、分析を踏まえた新設学部等の趣旨目的、教育内容、定員設定等	
4. 学生確保の見通し	6 頁
1) 学生確保の見通しの調査結果	
2) 新設学部等の分野の動向	
3) 中長期的な 18 歳人口の地域的動向	
4) 競合校の動向	
5) 既設学部等の学生確保の状況	
6) 長野県内における看護系大学の進学先の状況	
7) 看護系大学志願者数	
8) 松本看護大学への期待度	
9) 資料請求者数、オープンキャンパス開催結果について	
10) 短期大学で定員が未充足であった原因	
11) 四年制大学となることによって生み出される特色	
12) 既設短期大学での実績	
13) 松本看護大学の優位性	
14) その他、申請者において検討・分析した事項	
5. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	17 頁
学生確保についての具体的な取組（予定を含む）	

I. 学生の確保の見通しと学生確保に向けた取組を記載した書類

1. 新設学部を設置する大学等の現状把握・分析

設置しようとする松本看護大学の母体となる松本短期大学は、昭和 47 年の設置認可から、一貫して地域に必要とされる人材の育成を行ってきた。昭和 47 年 4 月に開学した幼児教育学科（平成 16 年 4 月幼児保育学科へ学科名変更）は第 2 次ベビーブームの中、地域に産まれる子どもにより良い教育・保育の機会を提供するため、幼稚園と同時期に設置を行った。その後、高齢化社会という時代のニーズに応え、地域医療へ貢献することを目的に、平成 5 年に介護福祉学科、平成 18 年に看護学科を開設した。

また、松本短期大学の卒業生数は平成 31 年 3 月末時点で幼児保育学科では 3,910 名、介護福祉学科では 1,907 名、看護学科では 495 名となっている。卒業生のほとんどが地元の企業・医療機関・教育機関等に就職し、地域の保健医療福祉や保育のニーズに貢献しうる人材の育成に長年取り組んできた。その結果、地域貢献度も高く、地域からの信頼も厚い。特に看護学科においては平成 28 年度から平成 30 年度にかけて 124 名の卒業生を輩出し、そのうち 107 名（約 86%）が長野県内の医療機関等に就職している。また、入学者の傾向をみても平成 26 年度から平成 30 年度にかけて松本短期大学看護学科に入学した学生の 95.9%は長野県出身者であり、開学から一貫して地域に根差した教育を行ってきた結果であるといえる。（資料 1：松本短期大学の入学者と卒業生の状況）

本学は地域と共に発展し、地域に貢献することを目的としてきた。今後も地域のニーズを真摯にとらえつつ、地域を支え、発展できる人材の育成・輩出に取り組む。

2. 地域・社会的動向等の現状把握・分析

1) 長野県は高齢化が進み、在宅医療を中心とした医療需要は増加していく

長野県の総人口は平成 30 年 10 月 1 日時点で、約 206 万人であり、65 歳以上の高齢者人口は約 65 万人（高齢化率：31.5%）、75 歳以上の後期高齢者人口は約 35 万人（後期高齢化率：13.8%）である。今後は少子高齢化が進行していくと予想され、総人口は令和 21 年には 167 万人へと減少し、75 歳以上人口の割合は令和 7 年には 20%を超え、5 人に 1 人が 75 歳以上になると見込まれている。少子高齢化に伴い、長野県の医療需要は令和 11 年まで上昇を続け、平成 25 年と比較して 1.1 倍まで上昇した後に減少する見込みである。一方で在宅医療の医療需要は令和 11 年～令和 16 年ごろまで上昇し、平成 25 年と比較して 1.3 倍まで上昇した後に減少する見込みであり、今後はますます在宅医療の需要が高まり、在宅医療を担う看護職者が地域から求められている。（資料 2：長野県人口予想）（資料 3：長野県の医療需要の予測）

2) 長野県における看護師確保は依然として困難である

第 7 次長野県保健医療計画（平成 30 年）の「保健師、助産師、看護師の有効求人倍率」によると、平成 23 年における看護師の有効求人倍率は 4.89 倍（全国平均 3.1 倍）、平成 28 年には 2.67 倍（全国平均 2.63 倍）となった。回復傾向にあるが、依然として全国平均と比較して有効求人倍率は高く、長野県では看護師確保は困難な状況であり、看護師養成が地域

から求められている。(資料4：長野県内看護職有効求人倍率の推移)

3) 長野県では在宅医療の提供体制の整備が求められる

長野県における訪問看護ステーション数は平成29年3月時点で183カ所であり、人口10万人あたり8.4カ所設置されている。これは全国平均である8.8カ所を下回る水準である。また、平成27年に長野県の医療機関を対象に実施した在宅医療提供体制に関する調査によると、長野県全体で訪問看護を実施している医療機関は病院で37.4%、診療所で7.7%に留まっており、訪問看護師の養成と、在宅医療提供体制の整備とそれを担う看護職者の養成を進める必要がある。(資料5：訪問看護ステーション数推移)(資料6：長野県における二次医療圏ごとの在宅医療(訪問診療・往診)実施状況)

4) 長野県内の看護師養成施設の設置状況

長野県内の看護師養成施設は、平成30年度末時点で15校、入学定員は800人である。うち4年制大学は3校、入学定員は240人であり、3年制課程の短期大学は2校、入学定員は130人、専修学校は10校、入学定員は430人となっている。4年制の学士教育が必要とされる中、長野県における看護師の養成は、70%が専修学校を中心とした3年制課程での教育がなされている状況にある。

5) 長野県における保健師教育の必要性

長野県は平均寿命が長い一方で1人当たり医療費が低いという、健康長寿と医療費との高いバランスを実現してきた。こうした長野県の誇るべき特徴は「保健師と協働した一般市民の健康ボランティア」等の活躍が大きく、長年医療の現場だけでなく、生活の場における予防に踏み込んだ実践活動の結果である。しかし「健康ボランティアの減少」「地域のつながりの希薄化」等を背景に、これまで発揮してきた効果を維持していくことが困難であると「長野県健康長寿プロジェクト・研究事業報告書(平成27年)」では指摘されており、長野県の健康増進に寄与できる保健師の養成、予防の実践活動の強化を進める必要がある。

健康寿命に目を向けると「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究(平成28～30年度)」では平成22年長野県の健康寿命は71.17歳であり全国6位であったが、平成25年には71.45歳(全国18位)、平成28年には72.11歳(全国28位)となり、健康寿命は微増しているものの、全国順位を大きく落とす結果となっている。健康寿命増進の観点からも予防医療、健康増進等、地域保健活動等の中心を担う保健師の重要性が今後拡大していく。本学は地域保健医療の中心となり、長野県の健康増進に寄与できる保健師の育成を目指している。

6) 多様で複雑な在宅医療に対応するには4年間の看護教育が望ましい

急速に進む超高齢社会において、医療を支える人材の量的・質的確保は重要な課題であり、とりわけ在宅医療を支える看護師の育成が社会全体から強く求められている。在宅医療では病院以上に個別性が高く総合的な看護が必要である。更に在宅を担う看護師には1人で

判断・対応できる自立した能力が求められる。日本看護協会による「看護師基礎教育4年制化に関する資料」によると「複数の疾患・背景をもつ患者へ看護ができる力」「複雑な状況にある人を全人的に捉え、判断し、対応する基礎となる力」が必要であり、そのためには基礎教育の4年制化が必要であると記載されている。

7) 長野県の高等教育機関の現状

学校基本調査によると、長野県内に所在している高等学校の卒業者のうち、長野県外の大学へ進学した者の数は令和元年度では7,441名、大学進学者数9,113名のうち82%が長野県外の大学に進学している結果となった。これは全国の都道府県では41番目に低い数値である。また、平成27年度における長野県の大学収容力は37%であり、全国の都道府県では2番目に低い数値である。ここから、長野県内での大学教育における進学先不足の状況がうかがえる。本学の設置により、地域に進学できる学部学科が増え、これまで長野県外に進学せざるを得なかった学生の一部が、本学へ進学を希望する可能性は十分にあり、学生確保の見通しと共に、長野県内の高校生に教育の機会を提供することができる。(資料7：長野県における大学進学者の他県流出率)

8) 地域社会における人材需要の見通し

卒業後の具体的な進路や地域社会の人材需要の見通し等について、定量的に確認するため人材需要に関する基礎調査を実施した。調査対象は卒業生の就職が予想される長野県内の病院、診療所、訪問看護ステーション、介護施設とし、看護職員の充足状況や新設の看護学部の期待度、松本看護大学の卒業生に対する採用意向等のアンケート調査を実施した。

アンケートの結果、322施設から有効回答が得られ、そのうち35%にあたる114施設で必要な看護師を確保できていない結果となった。施設で不足している看護師数を合計すると335人の看護師が地域で不足しており、看護師の人材需要の高さが伺える。

また、「大学への期待度について、どの程度ご期待いただけますか。」という質問に対し、全体の86%にあたる276施設が「とても期待している」又は「ある程度、期待している」と回答し、松本看護大学(仮称)に対し何らかの期待をしている結果となった。また、松本看護大学(仮称)を卒業した人材への採用意向については回答件数256施設中、21%にあたる55施設が「ぜひ採用したい」と回答し、21%にあたる56施設が「採用したい」と回答した。「ぜひ採用したい」又は「採用したい」と回答した施設に対し、「採用可能と思われる人数をご記入ください」と質問した結果、323名の採用可能枠が確認された。以上の結果から、松本看護大学(仮称)で学んだ人材への需要は高く、卒業後の進路は十分に見込めるものといえる。(資料15：松本看護大学(仮称)の進学需要・人材需要に関する調査結果)

9) 地域における訪問看護師の需要

地域における訪問看護師数の人材需要について確認するため、人材需要に関する基礎調査結果から訪問看護ステーションのアンケート結果を抽出し、その人材需要について調査を実施した。アンケートから抽出した結果、訪問看護ステーション84施設中、41%にあ

る 34 施設で必要な看護師を確保できていない結果となった。これは全施設のアンケート結果である 34%よりも 7 ポイント高い。ここから訪問看護ステーションでの人材不足が深刻であることが伺える。また、全国訪問看護事業協会資料によると全国の訪問看護ステーション数は 2010 年に 5,731 件であったものが 2019 年には 11,161 件まで増加し、約 2 倍近く増加しており、長野県においても同様に訪問看護ステーションが増加すると共に訪問看護師の需要も増加していくことが予想される。

10) 松本看護大学が養成する人材需要の長期的な見通し

本学の養成する人材像の長期的な見通しについて確認するため、人材需要に関する基礎調査結果から訪問看護ステーションのアンケート結果を抽出し、その人材需要について調査を実施した。

アンケートから抽出した結果「大学への期待度について、どの程度ご期待いただけますか。」という質問に対し、訪問看護ステーション 84 施設中 85%にあたる 71 施設が「とても期待している」又は「ある程度、期待している」と回答し、松本看護大学（仮称）に対し何らかの期待をしている結果となった。また、松本看護大学（仮称）を卒業した人材への採用意向については回答件数 84 施設中、65%にあたる 55 施設が「ぜひ採用したい」「採用したい」「採用を検討してもよい」と回答し、回答した施設に対し、「採用可能と思われる人数をご記入ください」と質問した結果、53 名の採用可能枠が確認された。本学の在宅看護学の特色に該当する実習を受け、その専門性を深める学生は 25 名である点から、卒業後の進路は十分に見込めるものといえる。更に、「将来貴事業所における看護師さんの需要について、どのようにお考えになりますか」との質問に対し、訪問看護ステーション 84 施設中 56%にあたる 47 施設が「増加する」と回答した。これは全施設のアンケート結果である 39%よりも 17 ポイント高い。ここから、訪問看護ステーションでの人材需要は今後増加していくことが予想される。

【表 1：看護師の需要について】

	回答項目	全 体		訪問看護ステーション	
		件数	割合	件数	割合
1	増加する	124	39%	47	56%
2	増加しない	107	33%	9	11%
3	わからない	89	28%	28	33%
4	その他・無回答	2	1%	0	0%
合計		322		84	

3. 新設学部等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

1) 1. や 2. で分析した課題に対して本学が貢献すること

設置母体である松本短期大学は地域のニーズを捉え、長年人材育成を通じて地域に貢献してきた。そんな中、長野県では「①少子高齢化により在宅を中心とした医療ニーズが増加

していく」「②依然として看護師は不足しており、採用が困難である」「③今後は在宅医療の体制整備が求められている」「④在宅医療には多様な医療ニーズに応える必要があり、そのためには3年制より4年制の看護教育がふさわしい」「⑤保健師が今まで発揮してきた効果を維持していくことが困難となっており、改めて地域の健康増進のための取り組みが必要である」等の社会的変化が確認された。

以上から、松本学園は地域のニーズに応え、地域で求められる水準の資質・能力を有する看護職人材を育成するために、在宅看護学・公衆衛生看護学が学べる4年制看護大学を開学する。設置しようとする松本看護大学は母体となる松本短期大学の文化や教育的資源を継承し、地域の保健医療福祉を支え、発展できる医療職の育成・輩出を通じて地域に貢献することを目的とする。

2) 今、大学を設置しなければいけない理由

団塊の世代が75歳以上となる令和7年に向けて医療体制の整備が求められているが、全国の傾向では約6万人～27万人の看護師の不足が生じるとされている。また、長野県においても人口10万人あたりの看護師数は全国平均と比較して高いものの、地域偏在がみられ、特に松本医療圏に隣接する「上伊那医療圏」は人口10万人あたりの看護師数が長野県下で最も少ない864.4名となっている。これは全国平均905.5と比較しても低い水準である。更に、訪問看護ステーション数が全国と比較して少ない点、長野県で訪問看護を実施している医療機関が病院で37.4%、診療所で7.7%に留まっている点などから、令和7年までに医療体制の整備を行うには早急に質の高い看護師の育成と、在宅医療の整備が必要であるといえる。そのため本学の設置は長野県を中心とする地域医療の向上に貢献できると考えている。(資料6：長野県における二次医療圏ごとの在宅医療(訪問診療・往診)実施状況)(資料8：令和7年における看護職員需給予測(暫定値))(資料9：長野県内看護職就業状況)

3) 新設学部等の入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

学生納付金については①永続的な大学経営ができるよう財務的な視点を考慮すること、②大学本来の目的である教育・研究をより充実させ、学生への還元がなされるよう教育研究費には配慮できる金額設定であること、③競合性が高いと考えられる長野県内の私立看護学部の学生納付金を踏まえ、妥当といえる金額に設定すること。以上3つの観点をもって学生納付金の設定を行った。(資料10：長野県の看護系大学納付金一覧)

4. 学生確保の見通し

1) 学生確保の見通しの調査結果

学生確保の見通しを定量的に確認することを目的として、開学時に学生募集の対象となる長野県内の高校2年生に進学意向調査を実施した。アンケートを依頼した高校は主として本学の位置する中信地区の39校の高校であり、5,279枚アンケートを配布した結果、37

校の高校から合計 3,852 枚の有効回答が確認された（回収率 73%）。なお、高校 2 年生向けにアンケートを回答していただくよう依頼をしたが、信憑性を高めるためにアンケート内にも学年を問う内容を加え、確実に高校 2 年生向けの結果となるよう集計を行った。また、169 名の受験希望者に対して 180 名の進学希望者があった理由は進学希望者 180 名の回答者には受験希望者 169 名だけでなく、受験検討者 492 名、合計 661 名が含まれるためである。

その結果、3,852 人から有効回答が得られた。有効回答数 3852 人中、松本看護大学に「ぜひ受験したい」又は「一応受験したい」と回答した者は 169 人となった。また、「受験先の候補の一つとして考える」との回答を含めると 661 人が松本看護大学への進学を希望した。また、「ぜひ受験したい」「一応受験したい」「受験先の候補の一つとして考える」と回答した 661 人のうち、「入学を希望する」と回答した者は 79 人、「一応入学を考える」と回答した者は 101 人、「候補の一つ」と回答した者は 397 人となり、合計すると 577 人の進学検討者が確認された。これは松本看護大学への受験を検討している 661 人のうち約 87%にあたる 577 人が入学を検討している結果となった。

松本看護大学の入学定員 70 人に対して「入学を希望する」のみで入学定員以上（入学定員の 1.13 倍）の学生確保の見通しが得られた。また、「入学を希望する」に「一応入学を考える」「候補の一つ」を加えると入学希望者は 577 人となり、入学定員の 8.2 倍に該当する回答者が、松本看護大学に対して何らかの進学希望を持っている結果となった。以上の結果から、長野県内の高校 2 年生から松本看護大学への受験希望が得られ、学生確保においては十分な見通しがあるといえる。（資料 1 5：松本看護大学（仮称）の進学需要・人材需要に関する調査結果）

2) 新設学部等の分野の動向

長野県における看護学系学部学科への志願倍率の平均は、平成 30 年度が 3.2 倍、平成 29 年度が 3.1 倍となっており、定員充足率も平均 101 %となっている。これは、長野県における看護学科に対する進学希望者が多数存在している状況を表しており、安定した志願者数の確保と高い志願倍率、定員充足の状況から、本学においても十分な学生の確保の見通しがあるものとする。（資料 1 1：長野県の看護系大学入試関連データ）

3) 中長期的な 18 歳人口の地域的動向

長野県毎月人口異動調査によると、平成 31 年 4 月時点の長野県の 18 歳人口は 19,819 人であった。また、平成 21 年 4 月時点の長野県の 18 歳人口は 20,890 人であった。10 年間の平均的な減少率は -0.6% 程度であることから、長期的に 18 歳人口は減少していくが、その速度はゆるやかであるといえる。また、対象学年を基準人口とし、人口変動等を考慮しない簡易的な人口予想では令和 12 年には長野県の 18 歳人口は 20,728 人であると予想され、平均的な増減率も 0.5% 程度プラスとなる見通しである。以上から、長野県内の 18 歳人口が大きく減少することはなく、中長期的な確保の見通しがあるものと思われる。（資料 1 2：長野県の 18 歳人口動態）

4) 競合校の状況

松本看護大学の母体である松本短期大学看護学科の学生の98%が長野県内からの学生であることから、長野県の看護師を養成する大学を競合校とし、その状況を調査した。調査の結果、長野県に5校ある全ての大学において志願者が募集定員を上回る状況であり、入学定員に対する入学者の割合も1大学を除くほぼ全ての大学で充足する結果であった。なお、入学者数が入学定員を唯一下回った清泉女学院大学看護学科については、平成31年10月に認可され、募集活動が他大学よりも遅くなったことが大きな要因と考えられる。(資料11：長野県の看護系大学入試関連データ)

5) 既設学部等の学生確保の状況

本学の過去5年間の志願倍率は看護学科、幼児保育学科は共に1.00倍を超えており、介護福祉学科に関しては0.8倍程度を維持している。母体となる短期大学から定員数を維持する点、学生の大学志向が上昇している点から、大学においても問題なく定員は充足できるものと考えている。(資料13：松本短期大学入試関連データ)

6) 長野県内における看護系大学の進学先の状況

長野県では看護系大学の進学先が不足しており、今まで長野県外に進学せざるを得なかった高校生が本学へ進学する可能性がある

長野県の大学収容率は約40% (平成27年度37%) であり、全国の都道府県の中では2番目に低い数値となっている。また、平成31年度、長野県内に所在している高等学校の卒業生で大学進学者は9,113名であったが、うち長野県内の大学へ進学した者は1,672名と18%程度であり、82%の大学進学者は県外の大学に進学している。全国的にも長野県の県内大学進学率は低く、全国の都道府県の中で41番目である。ここから、長野県内での大学教育における進学先不足の状況がうかがえる。

こうした状況は看護系の大学においても同様であり、平成28年度における都道府県別の18歳人口1,000名あたりの看護系大学入学定員数は全国平均が18人であるのに対し、長野県では11人と全国と比較して看護系大学の入学定員が少ない状況にあり、長野県内での看護系大学の進学先不足の状況がうかがえる。また本学が独自に行ったアンケート調査によると大学に進学を希望する1,953人中、看護系大学に進学を希望する学生(看護系大学が第一志望或いは第二志望である学生)は261人であり、261人中、本学に受験を検討する学生(「ぜひ受験したい」「一応受験したい」「受験先の候補の一つとして考える」と回答した学生)は186人であった。約71%の学生が地元の長野県にある本学への受験を検討していることから、学生の地元志向の強さがうかがえる。一方で、長野県の県内進学率は18%に留まっている点、中信地区には看護系大学が信州大学しかなく、その入学定員が70名であり、全国からも学生が集まっている点からアンケートを配布した中信地区にはこれまで長野県外に進学せざるを得なかった看護系大学を希望する高等学校卒業生が相当数いることが分かる。こうした学生の一部が本学へ進学する可能性は十分にあるといえる。また、長野県内

の看護系大学の入学定員が 396 人であるのに対して日本私立学校振興・共済事業団の資料によると志願者が 1103 名いる点からも長野県では看護系大学の進学先が不足していることが伺える。以上から、本学が開学することで地元の看護系大学に進学を希望する学生へ教育の機会を提供すると共に、本学への入学の見込みは高いと判断した。

7) 看護系大学志願者数

全国・長野県共に看護系の大学志願者数が上昇しており、看護系大学である松本看護大学にも学生が集まる可能性が高い。

日本私立学校振興・共済事業団の資料によると私立大学全体の看護師養成校への志願者数は平成 23 年から平成 30 年にかけて 28,387 人から 56,612 人となり、約 2 倍まで増加している。一方で、短期大学全体では 5,834 人から 2,394 人となり、大幅な減少が確認されている。また、厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」の資料によると専門学校全体の看護師養成校への志願者数は平成 23 年から平成 30 年にかけて 114,181 人から 76,935 人と短期大学よりゆるやかではあるが減少傾向にある。以上から、全国的に看護師養成校に進学を希望する高校生の大学志向が増加しているといえる。また、厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」によると平成 19 年度から令和元年度にかけて長野県における看護系大学の志願者数は 588 名から 1103 名まで上昇している点からも、長野県においても看護系大学に進学を希望する高校生の数が増加しているといえる。

こうした大学志向の増加は社会構造の変化に伴って発生していると考えられる。看護職者に求められる能力が多様化し、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が策定された平成 4 年から平成 31 年度にかけて看護系大学の数は 14 校から 272 校まで増加し、入学定員数は平成 31 年度では 24,525 名となった。このような、社会の変化に伴い学生の意識が変化したことが原因であると考えられる。医療が多様化・高度化しているなか、こうした傾向はむしろ加速していくことから、学生の大学志向は長期的に持続するものと考えられる。

また、本学の位置する長野県、特に中信地区の傾向として本学が独自に実施したアンケート調査によると、長野県内の 322 の事業所中 39%にあたる 124 施設が「看護師の人材需要は増加する」と回答しており、特に訪問看護ステーションに限定すると 84 施設中 56%にあたる 47 施設が「看護師の人材需要は増加する」と回答した点からも地域においても、特に在宅に関する看護師の人材需要が伸び、それに伴い高校生の意識も大学志向・在宅志向へと変化していくと予想される。こうした結果から、在宅医療の必要性が増加していくことを考えると、在宅を特色とする本学へ入学を志望する学生もまた、増加していくことを期待している。

8) 松本看護大学への期待度

このように全国的及び長野県内において大学志向が強くなっている現状において、松本看護大学への志願者がどの程度期待できるか、追加の調査を実施した。

調査の対象としたのは、大学への進学を主体とし、松本看護大学への通学可能な進学校を

中心に 33 校を抽出し、進路指導担当教諭に対しヒアリング調査を実施した。これらの高校はこれまで大学進学者が多いため、松本短期大学看護学科への入学者は少ないものの、松本看護大学の開設により新たに入学生が見込まれる高校である。調査期間は令和 2 年 6 月 4 日から 6 月 26 日までの約 1 ヶ月間である。

①ヒアリング内容

- a. 高校 3 年生の学生数
- b. 高校 3 年生のうち看護師を志望する学生数
- c. 高校 3 年生のうち四年制看護系大学を志望する学生数
- d. 高校 3 年生のうち松本看護大学への受験希望者数
- e. 学生から見た松本看護大学の印象

上記の 5 点とした。

②ヒアリング結果

(1) ヒアリング項目 a～d

ヒアリング項目 a～d の結果については、下記の「表 1. a～d のヒアリング結果」に示す通りである。訪問した 33 の高校に在籍する高校 3 年生は 7,896 名であった。高校 3 年生のうち、看護師を志望する学生は 592 名となり、高校 3 年生全体の 7%程度となった。また、看護師を志望する学生の中で特に四年制看護系大学を第一志望としている学生は 431 名であり、看護師志望の学生の 73%が看護系大学を目指している結果となった。長野県における看護師の養成校の入学定員は、約 60%が短期大学又は専門学校を中心とした三年制課程で占められている状況を鑑みると、学生の志向性と養成校の現状に乖離があると考えられる。つまり、長野県には四年制の看護系大学が不足しており、三年制の短期大学より四年制の看護系大学の方が高校生の志向性に合っていると見える。

また、ヒアリング対象校の中で本学看護学部への受験希望者数は 101 名であり、看護師を志望する学生に対する割合は約 23.4%となった。本結果は、令和元年 6 月 1 日～6 月 31 日の間に本学が独自で 3,852 人の高校生に行ったアンケート結果で、看護師を第一志望とする学生のうち、本学看護学部への受験を希望する学生（「ぜひ受験したい」または「受験をしたい」と回答した学生）が約 21.6%であった結果とほぼ整合しており、ヒアリング結果、アンケート結果共に信憑性は高いと判断できる。

表 1. a～d のヒアリング結果

項目	結果 (人)
a. 高校 3 年生の学生数	7,896
b. 高校 3 年生のうち看護師を志望する学生数	592
c. 高校 3 年生のうち四年制看護系大学を志望する学生数	431

d. 高校3年生のうち松本看護大学への受験希望者数	101
---------------------------	-----

(2) ヒアリング項目 e

ヒアリング項目 e の結果については下記の通りである。

- ・長野県では看護系大学の進学先が不足している認識がある。特に進学校を中心に、国公立である信州大学、長野県立看護大学を志望する学生が多いが、これらの大学は全国から学生が集まるため、長野県内の学生にとって狭き門となっている。松本市に私立の看護大学ができることは学生にとっては朗報である。
- ・学生が看護大学を選ぶ際、取得できる資格が大きなポイントとなる。松本看護大学は看護師と保健師の資格取得が可能であり、学生の志向に合致している。
- ・松本看護大学の特徴である4年次の応用看護領域は地域のニーズを取り入れ設定されており、いずれも大切に説得力のある設定となっている。特に、今後さらに大切となる在宅看護に対して、重点的に取り組んでいるのは、本学のみであり、この点進路指導の先生より高く評価されている。学生は専門分野を持つことに興味があり、この応用看護領域を選択することを契機に将来さらに専門性を深め、地域で活躍する人材になることに興味を示している。
- ・長野県は山岳地帯にあるため、災害看護は学生もイメージしやすい。
- ・いままさに問題となっている新型コロナウイルスに関して、保健師、看護師の役割はさらに重要なものとなっている。この職業に関して感染の危険性はあるものの、社会貢献度の高さは学生にとって魅力のあるものとなっている。進路指導担当教諭からの情報では、昨年に比べ看護師志望者が増加しているとのことである。

③ヒアリング結果より見出された結論

ヒアリングの結果より、下記(1)～(4)の4点の結論を見出した。

- (1) 看護師志望の学生の73%が看護系の四年制大学を志望しているが、長野県の看護師養成校の定員は約60%が短期大学・専門学校であることを鑑みると、学生の志向性と養成校の現状に乖離があり、長野県の看護系四年制大学の進学先が不足している。
- (2) 看護師志望の学生の73%が看護系大学を志望している点から、三年制の短期大学より四年制の看護系大学の方が高校生の志向性にあっている。
- (3) これまで松本短期大学への志願者が少なかった33校に対するアンケート結果では、入学定員の70名を超える101名の受験希望者が確認されており、学生確保の見通しは高いといえる。
- (4) 本学が掲げている応用看護領域すなわち、在宅看護、救急・災害看護、公衆衛生看護(保健師教育)など、四年制大学となることによって生み出される本学の特色は、専門性を志向する高校生のニーズと合致した。

9) 資料請求者数、説明会の開催結果について

前述したアンケート結果、及びヒアリング結果を裏付けるために、現時点での松本看護大学への高校生の期待度を資料請求数及びオープンキャンパスでの参加者数、参加しての感想等より考察した。

①資料請求者数（令和2年8月8日現在）

松本看護大学の特色（案）をホームページ、高校訪問、テレビコマーシャル、進学サイト等で紹介した結果、松本看護大学に関する資料請求者数は、8月8日現在で549件となり、松本看護大学に関する関心の高さが伺える。

下表2は昨年同期の松本短期大学看護学科との資料請求者数の比較である。

表2. 資料請求者数（前年同期比較）

令和元年4月1日～8月31日	令和2年4月1日～8月8日
58件	549件

②松本看護大学紹介オープンキャンパスの開催結果

(1) 実施状況

新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮した結果、松本看護大学の紹介オープンキャンパスは7月12日（日）より開始し、8月2日（日）、8月23日（日）の3回を開催している。今後は、随時開催していく予定である

(2) 参加者の状況

参加者数は7月12日（日）に関しては、準備期間が短く広報が十分行き届いていなかった面があり、オンライン参加者11名を含め58名、8月2日（日）がオンライン参加者18名を含め96名と、参加者は増加した。

下表3は、昨年同期の松本短期大学看護学科とのオープンキャンパス参加者数の比較である。

表3. オープンキャンパス参加者数（前年同期比較）

令和元年		令和2年	
開催日	参加者数（人）	開催日	参加者数（人）
6月22日	26	7月12日	58
7月20日	36	8月2日	96
8月9日	53	8月23日	93
合計	115	合計	247

(3) 参加者アンケート結果

下表4～7は、令和2年7月12日及び8月2日における参加者に対して行ったアンケート結果である。

対象者：オンライン参加者を除く 123 名

有効回答者数：113 名

表 4. 松本看護大学の紹介オープンキャンパスを何で知りましたか。(複数回答可)

回答項目	回答数	割合 (%)
松本看護大学 (松本短期大学) ホームページ	61	54.0
進学情報サイト	34	30.1
県内高等学校宛松本看護大学オープンキャンパス案内	25	22.1
進路指導の先生	16	14.2
その他	17	15.0

表 5. 今回の学校紹介では、どういったことが知りたくて参加しましたか。(複数回答可)

回答項目	回答数	割合 (%)
入学試験のこと	80	70.8
学部の概要	76	67.3
学生生活のこと	56	49.6
取得できる資格のこと	47	41.6
卒業後の予想される就職先のこと	41	36.3
奨学金のこと	41	36.3
国家試験対策のこと	25	22.1
教員の様子	21	18.6
通学のこと	19	16.8
その他	4	3.5

表 6. オープンキャンパスでよかったことや心に残ったことは何でしたか。(複数回答可)

回答項目	回答数	割合 (%)
学部の概要説明	81	71.7
学生生活の概要説明	59	52.2
教職員の対応や雰囲気	47	41.6
その他	48	42.5

表 7. 参加者の感想 (自由記述)

感想の内容
・ 応用選択科目が充実しており是非学びたい。
・ 概要説明を聞くことができ、興味も深まりました。
・ 学部の概要に関して詳しく知ることができ、良かった。
・ 教職員の対応、雰囲気がとても良かった。機会があれば短大の在校生の話が聞きたい。

・教職員のみなさんがとても優しく丁寧に対応してくださり、嬉しかった。
・説明が丁寧で、わかりやすかった。
・入学したい気持ちが強くなった。
・入学試験について知りたかったが、承認後に募集要項を自宅に送ってもらえるとのことで、納得した。
・地域に密着した看護の勉強ができるのが良いと思った。
・学べる内容や実習について知りたかった情報を聞くことができた。
・カリキュラムから就職・奨学金に関して説明があり、とても参考になった。

このようにオープンキャンパスでのアンケート結果からも、前述した進路指導担当教諭からのヒアリング結果と同様な反応があり、松本看護大学が考えている在宅看護や災害看護などの四年制大学となることによって生み出される特色は、高校生にとって魅力のある特色の一つとして捉えられており、この特色を更に具体的に広報していくことで、継続的に学生を確保していく。

10) 短期大学で定員が未充足であった原因

平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間の松本短期大学看護学科の平均入学定員充足率は 98.5%であり、入学定員未充足となったのは、平成 28 年度と平成 31 年度の 2 年である。開学 14 年間の平均入学定員充足率は 101%である。

こうした中、短期大学において未充足となった理由は、高校生の四年制大学志向の増加が主たる原因であると考えられるが、更に、松本短期大学の魅力が伝わりきらなかった点も理由として考えられる。短期大学の三年制の教育課程では、保健師助産師看護師学校養成所指定規則によって定められた教育課程が主幹であり、松本短期大学看護学科にしかない魅力や特色が伝わりにくく、他校との違いが判別しにくかったと考えられる。一方で、松本看護大学として四年制となることで、在宅看護、救急・災害看護、公衆衛生看護などの特色が生み出されるため、広報活動ではこうした特色を重点的に伝えていく。

11) 四年制大学となることによって生み出される特色

三年制の松本短期大学から四年制の松本看護大学となることで生み出される特色として、下記の 2 点を中心に高校生への説明を行う。

- ① 「智の連携創造科目」として位置づけた「連携ゼミナールⅠ」、「連携ゼミナールⅡ」や「研究方法論」などの科目では、現短期大学で十分な教育ができなかった文献検討、研究計画の作成と検証といった研究的視点を育むプロセスを経験することができる。
- ② 「救急看護学」「災害看護学」「在宅看護学」「公衆衛生看護学」等の「看護の応用と発

展科目」を新しく配置し、地域の特性にあったより深い学びを提供できる。

松本看護大学のオープンキャンパス等で、こうした特色について高校生に今後も説明していく。

7月及び8月に開催したオープンキャンパスで説明を行い、回収したアンケートで「オープンキャンパスでよかったことや心に残ったことは何でしたか。」との質問に対する回答の結果（上記 表6）、高校生の71.7%にあたる81名が「学部の概要説明」と回答したことから、本学が四年制大学となることによって生み出される特色は学生から高い評価を得ていると判断できる。

12) 既設短期大学での実績

松本看護大学の母体となる松本短期大学は設立以来地域に根差した教育を実施しており、看護学科開学14年間の平均入学定員充足率は101%となっている。看護師国家資格合格率も100%を2ヵ年連続で達成し、地域からの信頼も厚い。こうした実績は、松本短期大学の教育に対する姿勢にあると考えられる。松本短期大学は「信濃の国の教育風土に培われた教育への良心と見識」をもって学生教育を行っており、学生たちを「型にはめる」のではなく、学生たちに寄り添い「個性を尊重して、もてる可能性を引き出す」という教育観を共有し、その実現に取り組んできた。このような教育の姿勢は松本短期大学の初代理事長であり、教育者である上条憲太郎が信濃教育から継承した考え方である。

松本看護大学は松本短期大学の開学以来、受け継いできた信濃教育の考えを継承し、発展させていく。

13) 松本看護大学の優位性

松本看護大学は教育の特色、立地、初年度学費の観点で競合となる他の看護系大学に対して優位性がある。

松本看護大学は中信地区では唯一の私立看護系大学であり、地域に根差した教育を特色とする大学となり、長野県の学生に教育の機会を提供するものである。こうした教育の特色や中信地区に私立看護系大学がない状況から、中信地区を中心とした高校生に対して高い優位性があり、松本看護大学の魅力・特色を伝えることで十分に定員充足できる学生が得られると判断した。また、長野県内の私立看護系大学のなかで最も初年度学費を安価に抑えている点からも優位性があるといえる。以下に松本看護大学が設置される松本市及び大学の魅力について詳細を記載する。

①松本市の魅力

松本市は、長野県の中心に位置し、北アルプス連峰と美ヶ原高原の豊かな恵みと美しい自

然環境、松本城を中心とした城下町として栄えた歴史・伝統文化に育まれてきた。歴史的建造物が多くあり、文化の香りが高く、自然あふれる環境である。また、山岳地帯にあることからスキーやスノーボード等の余暇に興じることもできる。さらに、松本市は、三つの「ガク都」（「岳都」「楽都」「学都」）としても発展している。北アルプスなどの山岳観光都市の「岳都」、セイジ・オザワ松本フェスティバルに代表される「楽都」、そして、日本で最も古い小学校の一つとされる旧開智学校の開校や旧制松本高等学校の誘致など、教育を重んずる文化芸術の息づく「学都」である。松本市では、この「ガク都松本」の実現に向けてさまざまな事業に取り組んでいる。こうした環境は教育研究する場所としてはふさわしく、魅力を感じる学生も一定層いることが予想される。

また、長野県の中心に位置し、交通の便が良いことから、学生が通学できる範囲が広いことも魅力の一つと言える。

②本学独自の魅力

本学は松本短期大学看護学科を母体として開学するため、長年看護教育を提供してきた実績がある。また、前述したとおり、短期大学での看護師国家資格合格率は100%であり、その実績を踏まえた募集活動を行う。また、本学では在宅看護学に関する科目を8科目11単位配置しているが、長野県の看護系大学では在宅看護学に関する科目は6単位程度に留まるケースが多く、今後さらに重要性が増す、在宅看護学に興味を示す学生にとって魅力度は高いといえる。

また、短期大学には介護福祉学科、幼児保育学科を有している。今後、看護職者と介護福祉士の連携の重要性が高まる中、同じキャンパス内で介護福祉学科の学生と看護学科の学生が学び、交流することの教育的意義は高い。更に、看護学科の教員には介護に関する教育研究経験を有する教員が配置されており、興味のある学生にとっては介護に関する学びを深める機会がある。更に、松本学園には付属の幼稚園と短期大学には幼児保育学科が設置されており、幼児保育学科の学生との交流を通して、小児看護学を学ぶ上で、看護学とは違った観点で小児への学びを深めることのできる教育的意義は高い。介護福祉学科と同様に幼児保育のキャリアを有した教員も採用しており、学生は多様なバックグラウンドをもつ教員の下で学生が学ぶことができる。また、本学は少人数のグループ学習を基本とする「智の創造関連科目」を配置している。多様なバックグラウンドをもつ教員指導のもと、学生は主体的に課題を発見し、解決を図るプロセスにおいて、多様な視点を吸収しながら課題探求力・問題解決力・自己研鑽力・基礎的研究能力を向上させることができる。こうした環境下において本学を魅力に感じる学生は一定数おり、こうした学生に対して本学は優位性が高いといえる。

14) その他、申請者において検討・分析した事項

私学事業団の報告によると、全国の短期大学における介護福祉学科の志願倍率は回復傾向にあるものの、0.5倍～0.8倍程度となっており、入学定員に対する定員充足率も60%前後を維持している。こうした中で、松本短期大学介護福祉学科が志願倍率0.8～1.0倍程度

を維持し、入学定員に対する定員充足率も 80%前後を維持している点は地域に貢献する大学の姿勢の結果であるといえる。(資料 1 4 : 全国の介護福祉短期大学の入試関連データ)

5. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

1) 短期大学と四年制大学の人材需要の違いを踏まえた具体的な広報活動

短期大学と四年制大学の教育内容の違いを踏まえると、短期大学では「実践者の育成」を掲げている点や 3 年で看護師資格が取得できる点から早期に就職し看護を实践する点に価値を感じる学生が主体であったと想定される。一方で、四年制大学では看護師免許の取得と共に深く専門性を学ぶことに価値を感じる学生に志願者が変化することが想定される。こうした学生層の変化を踏まえ、下記に記載の根拠により十分に学生確保の見通しがあると判断した。

(1) 地域の現状や社会構造の変化について

社会的な人材需要とその背景にある地域社会の状況について学生に分かりやすく伝える。特に①長野県では少子高齢化により医療ニーズ、特に在宅医療のニーズが今後 10~15 年近く増加し続けるが、長野県全体で訪問看護を実施している医療機関は病院で 37.4%、診療所で 7.7%に留まっており、今後在宅を担う人材が求められている点、②長野県の看護師有効求人倍率は平成 28 年には 2.67 倍(全国平均 2.63 倍)となっており、更にアンケート結果では 328 人の看護師が地域で不足しており、看護師は依然として社会から求められている点③日本は世界有数の自然災害大国と言われており、特に長野県では山岳事故に対応できる看護師が地域社会から求められている点④長野県は全国トップレベルの平均長寿を維持し続けてきたが、健康長寿を支えてきた保健師が高齢化で維持が難しくなり保健センターで保健師が求められている点、について学生に分かりやすく伝える。更に、こうした地域の現状に加え看護協会が看護教育の四年制化を推奨している点や看護職者が高学歴化している点等全国的に 4 年制教育が求められている点についても学生に伝える。

2) 松本看護大学で学べること、なれる看護師・保健師像について

前述した地域や社会構造の現状に加え、松本看護大学で学べること、なれる看護師・保健師像について分かりやすく伝える。松本看護大学はその母体となる松本短期大学の設立以来地域に根差した教育を実施しており、こうした文化的背景をもって開学し、地域で求められる水準の資質・能力を有する看護職人材を育成することを目的としている点。地域に必要とされている在宅看護学・公衆衛生看護学や救急・災害看護学が学べる四年制看護大学であり、こうした地域からのニーズに対応した教育を展開している点を PR し、学生の興味関心をもってもらう広報を展開する。更に、松本看護大学で学んだ結果、自分で課題解決ができる自立した看護師として、患者に寄り添い生活を支えることができる心のある看護師になれること、地域の健康を支える看護職者となれることをイメージしてもらう。加えて、地域の 322 施設にアンケートをした結果、86%にあたる 276 施設が松本看護大学に期待をしており、地域から求められている教育を展開している点も伝える。更に、保健師の受験資格が

得られる点や四年制大学を進学した後は大学院への進学の可能性のある点等のキャリアの幅が四年制大学では広いことも伝える。

2) 具体的な広報活動

本学は、学生確保のための取組みをさらに充実させるため、事務長を委員長とした広報企画推進委員会を設置し、10名～15名程度の教職員を任命する。広報企画推進委員会では学生確保の企画・立案、結果分析などを通じて広報活動の充実を図る。また、他大学の広報担当者との意見交換会を企画するなど情報収集も活発化させる。

広報活動の基本方針としては

- ①長野県を中心とする高校生に広く、本学のことを知っていただく活動を展開する（認知度アップ）
- ②本学に興味・関心があり、ホームページへのアクセス、資料請求、オープンキャンパス等に参加し、本学と接触のある学生により本学への興味・関心を高めて頂き、出願までつなげる（興味・関心度アップ）の2点とする。

松本看護大学の入学定員は松本短期大学看護学科と同一である点、松本短期大学看護学科では5カ年の平均で99%の入学定員の充足がみられることから、いままでと同様の数値目標で十分に入学定員を充足できる見込みであるが、よりアドミッション・ポリシーに則った学生を確保する観点から昨年と比較して1.1倍～1.2倍の志願者数を確保することを目標に広報活動に取り組むこととする。また、松本看護大学の母体となる松本短期大学看護学科には毎年80～100名の志願者がおり、うち30%～50%がオープンキャンパスに参加した学生であることから、オープンキャンパスへの誘導促進を主軸として広報活動を展開する。具体的には下記の取組みを通じて志願者アップを図る。

(1) 高校訪問

長野県に所在する高校に訪問し、高校教員への情報提供や情報収集を行う。訪問回数は年3回～6回を基本とし、訪問する高校は長野県全域を対象とするが、特に松本短期大学への入学実績の高い高校や、本学の位置する中信地区の近隣高校を重点高校とし、より頻度の高い訪問を行う。

(2) 広報関連制作物

松本短期大学では毎年600件前後の資料請求がある。資料発送時に同封する内容物をよりよくすることでオープンキャンパスへの参加、志願者増加を促進する。広報物の内容としては松本看護大学の説明、在宅・公衆衛生学を中心とした学びの特色、養成人材像と想定される就職先のPRに注力する。

(3) WEBサイト

松本短期大学では、毎年32,000件前後のHPへのアクセスがある。積極的にウェブ広報を活用し、認知を高め、興味・関心をもってもらうための活動を行う。ホームページ上で、

高校生が求める情報を頻繁に発信予定である。

(4) ダイレクトメール

オープンキャンパス参加や出願を促すため、学生の興味・関心に合わせ、必要に応じて発送を行い、オープンキャンパスの告知と誘導、入試案内による出願の促進を行う。

(5) 進学説明会・オープンキャンパス

高校生が進路を決定する夏頃を中心に進学相談会やオープンキャンパスを実施し、高校生や保護者が大学に直接触れる機会を多く設ける。また、外部業者が主催する進学説明会へも積極的に参画する。

学生の確保の見通し等を記載した書類

添付資料（資料1～資料15）

- 資料1 松本短期大学の入学者と卒業生の状況
- 資料2 長野県人口予想
- 資料3 長野県の医療需要の予測
- 資料4 長野県内看護職有効求人倍率の推移
- 資料5 訪問看護ステーション数推移（全国）（長野県）
- 資料6 長野県における二次医療圏ごとの在宅医療実施状況
- 資料7 長野県における大学進学者の他県流出率
- 資料8 令和7年における看護職員需給予測（暫定値）
- 資料9 長野県内看護職就業状況
- 資料10 長野県の看護系大学納付金一覧
- 資料11 長野県の看護系大学入試関連データ
- 資料12 長野県の18歳人口動態
- 資料13 松本短期大学の入試関連データ
- 資料14 全国の介護福祉短期大学の入試関連データ
- 資料15 松本看護大学（仮称）の進学需要・人材需要に関する調査結果

【資料 1 : 松本短期大学の入学者と卒業生の状況】

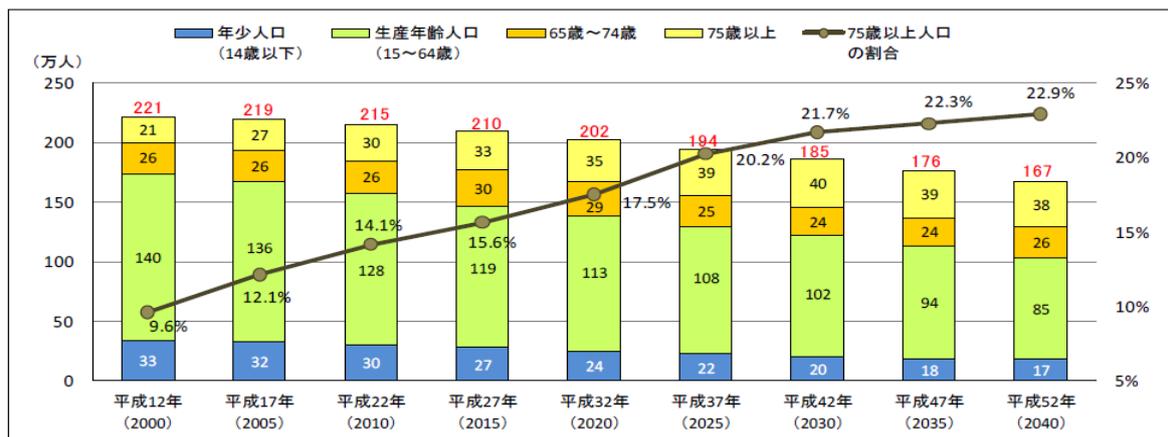
松本短期大学 看護学科	
入学者数	74
長野県内高校出身者	71
長野県外高校出身者	3
長野県比率	95.9%

松本短期大学 看護学科	
卒業者数	35
就職者数	
長野県内就職者数	29
長野県外就職者数	4
長野県内就職率	88%
進学者数	
長野県内進学者数	2
長野県外進学者数	0
長野県内就職率	100%

【資料2：長野県人口予想】

○長野県の人口は、2015年（平成27年）の210万人から、2040年（平成52年）には167万人へと減少していく一方、75歳以上人口の割合は年々増加し、2025年（平成37年）には20%を超えるなど今後とも高齢化が進展する見込みです。

図表 長野県の将来の人口・75歳以上人口の割合の推移



	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)
年少人口 (14歳以下)	334,306	316,368	295,742	269,752	242,286	217,705	196,359	183,320	174,499
生産年齢人口 (15~64歳)	1,404,575	1,356,317	1,281,683	1,186,865	1,131,042	1,076,998	1,017,763	943,775	852,964
65歳~74歳	263,042	256,335	264,938	298,778	292,224	251,219	235,642	241,944	259,059
75歳以上	212,085	265,649	304,363	327,307	353,270	391,701	401,360	391,866	381,893
75歳以上人口の割合	9.6%	12.1%	14.1%	15.6%	17.5%	20.2%	21.7%	22.3%	22.9%
総数	2,215,168	2,196,114	2,152,449	2,098,804	2,018,822	1,937,623	1,851,124	1,760,905	1,668,415

□ ピークの年

2000~2015年「国勢調査」(総数には年齢不詳者を含むため合計は一致しない)
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013.3月推計)」

※長野県地域医療構想より抜粋

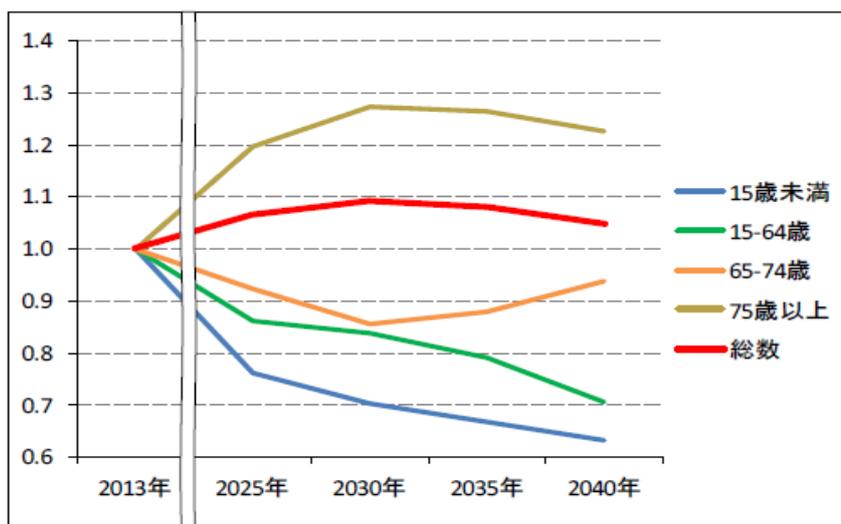
【資料3：長野県の医療需要の予測】

○2013年（平成25年）を1とした場合、入院患者の総数は、75歳以上の患者数の増加に連動して2030年（令和11年）頃にピークとなるが、65歳未満の入院患者数が減少傾向にあることから、増加の幅は2013年の1割増程度に留まる。

○75歳以上の入院患者数は2030年頃に2013年の約1.3倍まで増加した後、減少局面に入る。

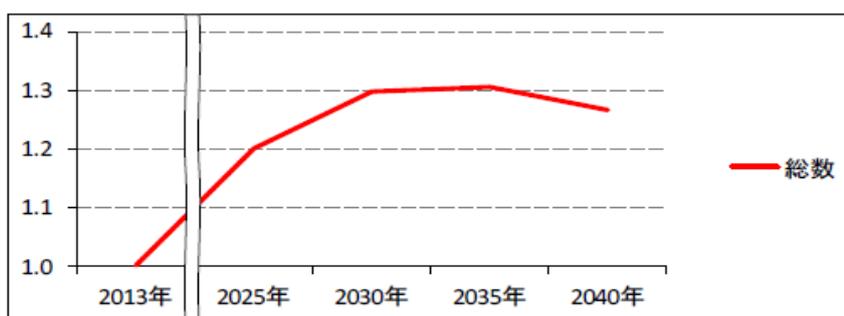
○在宅医療等の医療需要は、2013年を1とした場合、2030年から2035年頃に2013年の約1.3倍になった後、減少局面に入ると見込まれる

入院医療需要の変化率（2013年=1）



資料:「地域医療構想策定支援ツール」により作成

在宅医療等需要の変化率（2013年=1）



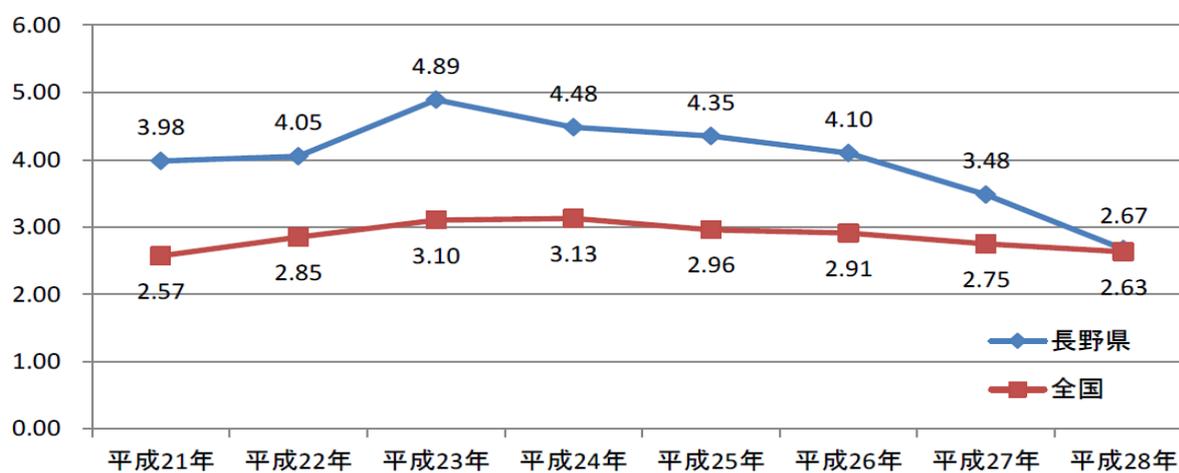
資料:「地域医療構想策定支援ツール」により作成

※長野県地域医療構想より抜粋

【資料4：長野県内看護職有効求人倍率の推移】

○平成18年（2006年）4月の診療報酬改定で手厚い看護体制に対する高い評価（7対1入院基本料）が新設されて以降、看護職員の需要は増えていました。平成24年以降は、病床機能の転換等もあり、長野県、全国ともに減少傾向となっていますが、依然確保が困難な状況が続いています。

保健師、助産師、看護師の有効求人倍率の推移



（注）調査月は10月。パートタイムを除く。

（厚生労働省「一般職業紹介状況」）

単位：倍

※第7次長野県保健医療計画（第3回保健医療計画策定ワーキンググループ会議資料）より抜粋

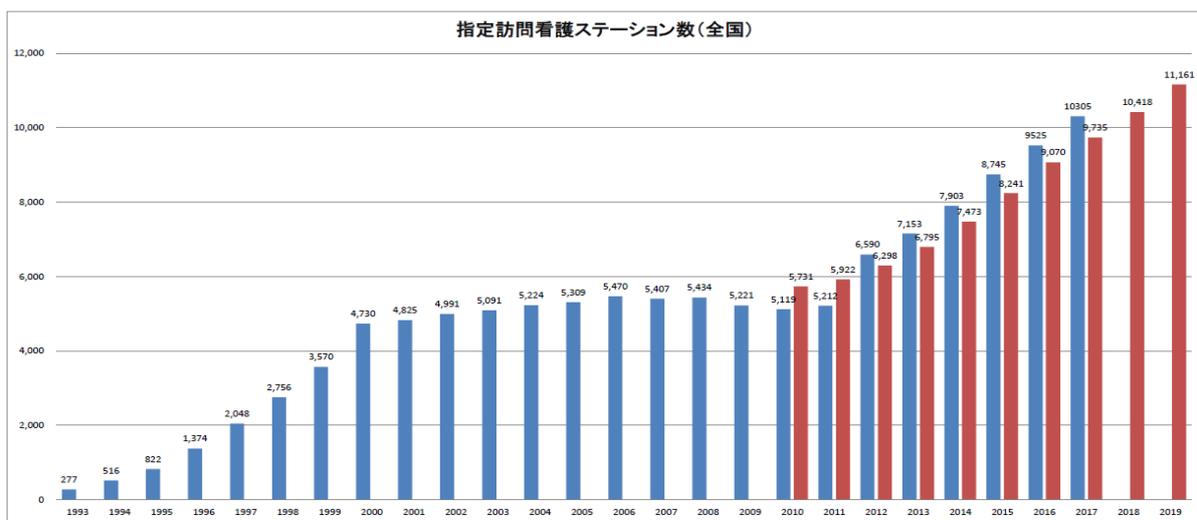
【資料5：訪問看護ステーション数推移（全国）（長野県）】

	長野県	全国
訪問看護ステーション数（稼働数）	172	11,161
訪問看護ステーション数（届け出数）	183	11,645
訪問看護ステーション数（休止数）	11	484
総人口（令和元年4月1日）	2,052,033	126,230,000
人口10万人あたりの訪問看護ステーション数	8.4	8.8

※訪問看護ステーション数は全国訪問看護事業協会資料より抜粋

※長野県総人口は長野県情報政策課統計室広報データより抜粋

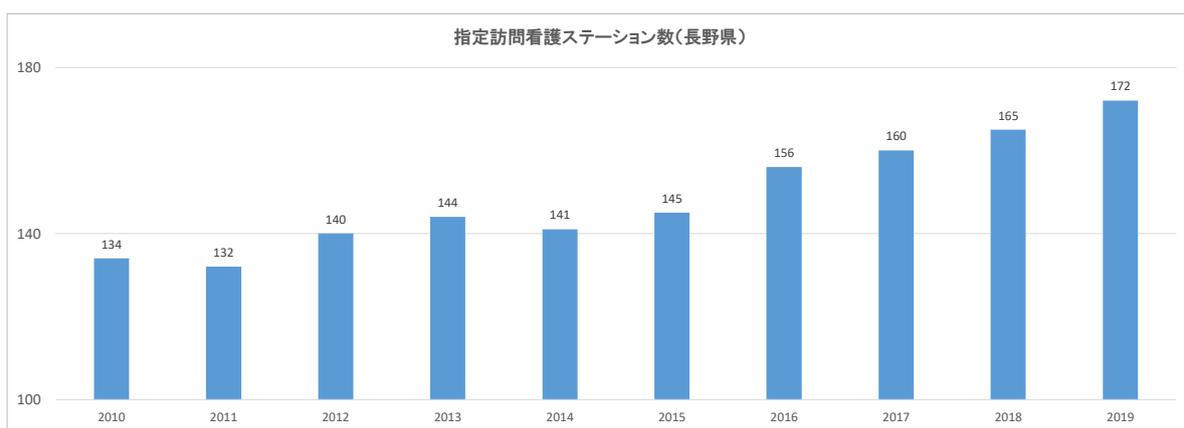
※全国総人口は総務省統計局公表データより抜粋



一般社団法人全国訪問看護事業協会 訪問看護ステーション数調査

青：1993年～1999年 訪問看護事業協会調査（厚生労働省統計情報部）
 赤：2000年～2017年 介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省統計情報部）
 2010年～2019年 訪問看護ステーション数調査（全国訪問看護事業協会）

※訪問看護ステーション数は全国訪問看護事業協会資料より抜粋



一般社団法人全国訪問看護事業協会 訪問看護ステーション数調査

※訪問看護ステーション数は全国訪問看護事業協会資料より

【資料6：長野県における二次医療圏ごとの在宅医療実施状況】

○2015年度（平成27年度）に県内の医療機関を対象に実施した在宅医療提供体制に関する調査によると、多くの医療圏で「訪問診療・往診のいずれか、または双方を実施している医療機関」が、「実施していない医療機関」よりも多くなっています。特に、木曾医療圏では全ての医療機関で在宅医療を実施しています。

○2014年（平成26年）10月現在の人口10万人当たりの一般病床・療養病床の合計数は、上小医療圏が最も多く上伊那医療圏が最も少なくなっています。

二次医療圏ごとの在宅医療（訪問診療・往診）実施状況

【病院】					【診療所】				
医療圏	医療機関数	訪問診療・往診のいずれか、または双方を実施している	実施していない	無回答	医療圏	医療機関数	訪問診療・往診のいずれか、または双方を実施している	実施していない	無回答
佐久	11	9 (81.8%)	2 (18.2%)		佐久	71	44 (62.0%)	27 (38.0%)	
上小	10	6 (60.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	上小	74	39 (52.7%)	33 (44.6%)	2 (2.7%)
諏訪	8	7 (87.5%)	1 (12.5%)		諏訪	77	47 (61.0%)	28 (36.4%)	2 (2.6%)
上伊那	6	3 (50.0%)	3 (50.0%)		上伊那	65	37 (56.9%)	27 (41.5%)	1 (1.5%)
飯伊	7	5 (71.4%)	2 (28.6%)		飯伊	73	56 (76.7%)	17 (23.3%)	
木曾	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)		木曾	7	7 (100.0%)	0 (0.0%)	
松本	18	11 (61.1%)	6 (33.3%)	1 (5.6%)	松本	212	139 (65.6%)	69 (32.5%)	4 (1.9%)
大北	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)		大北	28	23 (82.1%)	4 (14.3%)	1 (3.6%)
長野	26	15 (57.7%)	11 (42.3%)		長野	208	99 (47.6%)	105 (50.5%)	4 (1.9%)
北信	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)		北信	33	20 (60.6%)	13 (39.4%)	
合計	91	60 (65.9%)	29 (31.9%)	2 (2.2%)	合計	848	511 (60.3%)	323 (38.1%)	14 (1.7%)

出典：長野県在宅医療等提供体制調査分析業務報告書(2016.3)

一般病床数・療養病床数（2014年10月1日）

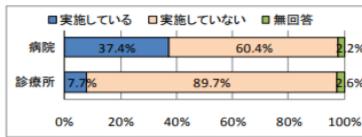
	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信	長野県計
人口	210,899	197,618	199,481	185,440	164,178	29,021	427,269	60,256	545,178	89,101	2,108,441
一般病床数	1,846	1,345	1,578	1,004	1,131	207	3,614	468	4,160	729	16,082
人口10万人当たり	875.3	680.6	791.1	541.4	688.9	713.3	845.8	776.7	763.1	818.2	762.7
療養病床数	456	909	335	318	481	48	530	72	1,061	55	4,265
人口10万人当たり	216.2	460.0	167.9	171.5	293.0	165.4	124.0	119.5	194.6	61.7	202.3

出典：人口……長野県毎月人口異動調査
病床数……長野県 病院・診療所名簿

医療機関による訪問看護の実施状況

回答した医療機関のうち、34病院（37.4%）、65診療所（7.7%）が訪問看護を実施しています。

	医療機関数	実施している	実施していない	無回答
病院	91	34	55	2
診療所	848	65	761	22
合計	939	99	816	24



出典：長野県在宅医療等提供体制調査分析業務報告書(2016.3)

※長野県地域医療構想より抜粋

【資料 7：長野県における大学進学者の他県流出率】

	大学進学者数	うち自県進学者数	自県残留率	他県流出者数	他県流出率
平成26年	9,251	1,429	15%	7,822	85%
平成27年	9,113	1,582	17%	7,531	83%
平成28年	9,194	1,568	17%	7,626	83%
平成29年	8,980	1,448	16%	7,532	84%
平成30年	9,216	1,577	17%	7,639	83%
令和元年（速報値）	9,113	1,672	18%	7,441	82%

※学校基本調査より作成

【資料8：令和7年における看護職員需給予測（暫定値）】

○2025年における需要推計に関しては、都道府県からの報告では180万人となった。これに、ワークライフバランスの充実を前提に看護職員の超過勤務時間や有給休暇の取得日数など勤務環境改善について、看護職員の労働環境の変化に対応して幅を持たせた3とおりのシナリオを設けて推計したところ、188万人～202万人となった。

○2025年における供給推計に関しては175～182万人程度と見込まれる。

○2025年における需給ギャップについては、ワークライフバランスの充実度合いに応じて、幅が見込まれる。

○今般の推計は、地域医療構想の実現を前提とした推計値であり、実現度合いにより、看護職員の必要数は変化する可能性がある。

○今般の推計は、地域医療構想の実現を前提とした全国共通の推計方法として画一的な算定であり、個々の都道府県の実情を綿密に反映できていないわけではないことに留意。

(実人員 単位：人)

	平成28年 ※1	令和7年(2025)年			
		都道府県報告値 (係数等処理前)	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③
需要推計	1,660,071	1,801,620	1,880,668	1,897,547	2,019,758
病院+有床診療所	1,346,366	972,849	1,015,301	1,024,413	1,090,390
精神病床関連		132,052	137,904	139,142	148,103
(内訳) 精神病床		93,387	97,526	98,401	104,739
精神病床からの基盤整備		38,664	40,378	40,741	43,364
無床診療所		299,224	312,395	315,199	335,499
訪問看護事業所	46,977	112,558	117,502	118,556	126,192
(内訳) 医療保険	/	26,523	27,691	27,939	29,739
介護保険		47,370	49,433	49,877	53,089
精神病床からの基盤整備		38,664	40,378	40,741	43,364
介護保険サービス等	149,683	187,413	195,692	197,448	210,165
学校養成所等	117,045	136,188	142,253	143,529	152,773
供給推計	/	1,746,664	1,746,664 ～1,819,466	1,746,664 ～1,819,466	1,746,664 ～1,819,466

※数値は暫定値であり、精査中

【シナリオ設定条件】

	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③
超過勤務	10時間以内	10時間以内	0時間
有給休暇	5日以上	10日以上	20日以上

シナリオ1: 就業中の全ての看護職員において、1ヶ月における超過勤務時間が10時間以内、1年あたりの有給取得5日以上が達成された場合

シナリオ2: 就業中の全ての看護職員において、1ヶ月における超過勤務時間が10時間以内、1年あたりの有給取得10日以上が達成された場合

シナリオ3: 就業中の全ての看護職員において、1ヶ月における超過勤務時間なし、1年あたりの有給取得20日以上が達成された場合

※医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会（中間とりまとめ案（概要）（令和元年））より抜粋

【資料9 長野県内看護職就業状況】

○平成28年（2016年）末現在の県内就業者数は29,018人です。人口10万人当たりの就業者数では、保健師、助産師、看護師で全国より高く、准看護師で下回っており、保健師数では全国1位、助産師数では全国2位に位置しています。

○県内の二次医療圏ごとの人口10万人当たりの就業者数は、看護師数(准看護師含む)では上伊那及び木曾で全国を下回っています。

○平成28年（2016年）末現在、本県の看護職員の主な就業場所として、病院が61.1%を占め、診療所が13.4%、介護保険施設が13.0%を占めています。

人口10万対の医療圏別就業者数（平成28年）

地域 職種	地域											
	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信	全県	全国
保健師	87.8	65.6	66.4	82.3	83.9	136.6	74.9	108.4	66.8	101.5	76.6	40.4
助産師	43.2	30.0	37.5	42.0	37.9	57.5	54.1	27.1	31.6	50.8	40.2	28.2
看護師	1,208.1	884.3	1,050.4	864.4	970.0	945.5	1,117.9	1,070.1	1,012.5	988.7	1,028.5	905.5
准看護師	187.0	384.4	254.0	257.8	343.8	169.0	221.6	208.3	206.2	229.6	244.4	254.6

単位：人

県内看護職員の就業状況（平成28年）

場所 職種	場所									合計
	病院	診療所	助産所	訪問看護 ステーション	介護保 険施設	社会福 祉施設	保健所 市町村	その他		
保健師	239	34	0	4	9	4	1,150	160	1,600	
助産師	579	136	56	0	0	6	24	38	839	
看護師	15,027	2,310	0	733	2,290	379	197	540	21,476	
准看護師	1,878	1,405	1	34	1,462	217	21	85	5,103	
合計	17,723	3,885	57	771	3,761	606	1,392	823	29,018	
(構成比)	61.1%	13.4%	0.2%	2.7%	13.0%	2.1%	4.8%	2.7%	100.0%	

単位：人

※第7次長野県保健医療計画（第3回保健医療計画策定ワーキンググループ会議資料）より抜粋

【資料10：長野県の看護系大学納付金一覧】

単位：円

	長野県立大学	信州大学	佐久大学	長野保健 医療大学	清泉女学院大学
入学金	423,000 (県外) 141,000 (県内)	282,000	230,000	200,000	350,000
授業料合計	535,800	535,800	1,500,000	1,520,000	1,500,000
授業料	535,800	535,800	900,000	900,000	900,000
施設整備費				100,000	500,000
実験実習費			100,000	420,000	100,000
教材図書費				100,000	0
教育充実費			500,000		
初年度合計	958,800(県外) 676,800(県内)	817,800	1,730,000	1,720,000	1,850,000

※各大学HPより抜粋（費用は全て看護学部）

【資料 1 1 : 長野県の看護系大学入試関連データ】

長野県立大学 看護学部 看護学科

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
志願者数	334	230	272	324
合格者数	88	89	86	85
入学者数	83	85	85	82
募集定員	80	80	80	80
志願倍率	4.2	2.9	3.4	4.1

単位：人

信州大学 医学部 保健学科 看護学専攻

	平成31年度	平成30年度	平成29年度
志願者数	282	246	383
合格者数	78	75	76
入学者数	70	70	70
募集定員	70	70	70
志願倍率	4.0	3.5	5.5

単位：人

佐久大学 看護学部 看護学科

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
志願者数	291	239	262	292
合格者数	157	167	156	152
入学者数	92	95	98	99
募集定員	90	90	90	90
志願倍率	3.2	2.7	2.9	3.2

単位：人

長野保健医療大学 看護学部 看護学科

	平成31年度
志願者数	167
合格者数	107
入学者数	85
募集定員	80
志願倍率	2.1

単位：人

清泉女学院大学 看護学部 看護学科

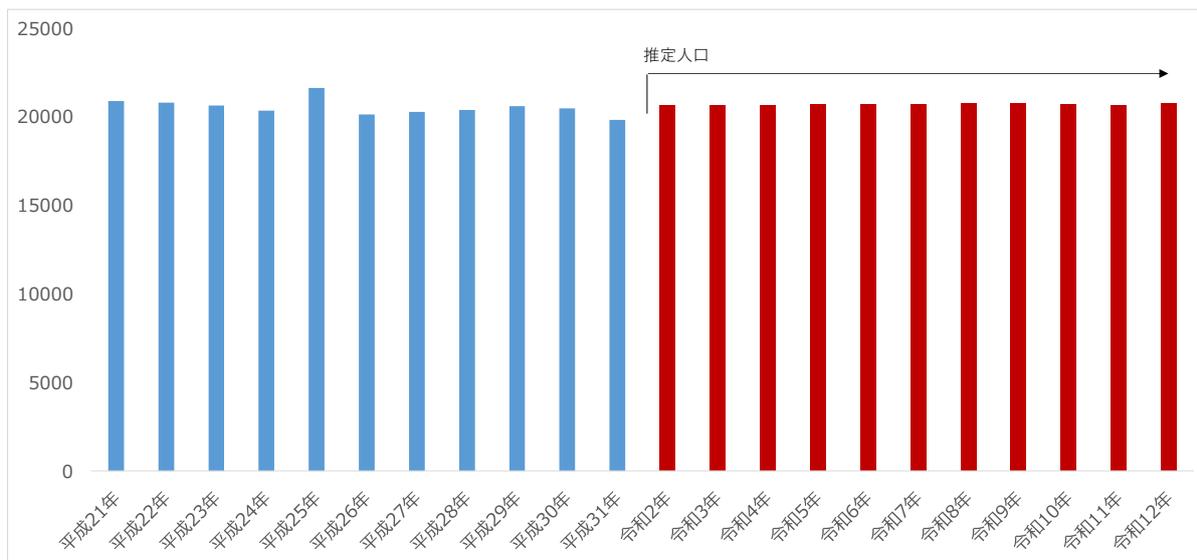
	平成31年度
志願者数	107
合格者数	83
入学者数	49
募集定員	76
志願倍率	1.4

単位：人

【資料12：長野県の18歳人口動態】

人口数	単位（総数、18歳人口）：人		
	総数	18歳人口	増減率
平成21年	2,163,795	20,890	-0.4%
平成22年	2,152,362	20,802	-0.8%
平成23年	2,143,394	20,639	-1.4%
平成24年	2,134,738	20,358	6.2%
平成25年	2,121,223	21,630	-7.0%
平成26年	2,109,542	20,125	0.8%
平成27年	2,097,632	20,281	0.5%
平成28年	2,089,354	20,377	1.1%
平成29年	2,077,466	20,609	-0.6%
平成30年	2,065,168	20,481	-3.2%
平成31年（令和元年）	2,052,033	19,819	4.1%
令和2年		20,632	0.0%
令和3年		20,626	0.0%
令和4年		20,616	0.5%
令和5年		20,713	-0.1%
令和6年		20,688	0.0%
令和7年		20,681	0.2%
令和8年		20,724	0.1%
令和9年		20,751	-0.2%
令和10年		20,717	-0.3%
令和11年		20,658	0.3%
令和12年		20,728	

推定人口



※長野県毎月人口異動調査より引用（4月時点のデータを活用）

※18歳人口の推計については基準人口のみを活用し、人口変動要因は活用していない

【資料 1 3 : 松本短期大学の入試関連データ】

松本短期大学 看護学科

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
志願者数	84	104	104	95	112
合格者数	76	84	83	69	81
入学者数	65	74	72	62	73
募集定員	70	70	70	70	70
志願倍率	1.2	1.5	1.5	1.4	1.6
入学定員充足率	0.9	1.1	1.0	0.9	1.0

松本短期大学 幼児保育学科

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
志願者数	125	126	103	128	142
合格者数	102	100	102	120	123
入学者数	100	100	98	100	102
募集定員	100	100	100	100	100
志願倍率	1.3	1.3	1.0	1.3	1.42
入学定員充足率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

松本短期大学 介護福祉学科

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
志願者数	31	42	42	38	49
合格者数	31	42	41	38	48
入学者数	31	40	40	37	45
募集定員	40	50	50	50	50
志願倍率	0.8	0.8	0.8	0.8	0.98
入学定員充足率	0.8	0.8	0.8	0.7	0.9

松本短期大学 オープンキャンパス参加者数

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
看護	85	108	142	139	79
幼児保育	306	308	263	236	253
介護福祉	51	55	56	58	43

※平成31年度は10月17日までの数値

松本短期大学 資料請求数・HPアクセスユーザー数

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
資料請求数	275	586	670	685	107
HPアクセスユーザー数	18,896	32,355	31,387	31,109	5,454

※平成31年度は10月17日までの数値

※平成27年度はHPリニューアルに伴い数値が例年対比低い

【資料14：全国の介護福祉短期大学の入試関連データ】

全国の短期大学 介護福祉学科 入試データ

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
志願者数	243	205	124	134
入学者数	192	180	118	124
募集定員	333	270	255	255
志願倍率	0.7	0.8	0.5	0.5
入学定員充足率	58%	67%	46%	49%

※私学事業団資料より抜粋



松本看護大学（仮称）の
進学需要・人材需要に関する調査結果

2019年 9月

■進学需要に関する調査	4
調査概要	
調査範囲	
調査書	
提示資料	
調査結果	
■人材需要に関する調査	13
調査概要	
調査範囲	
調査書	
提示資料	
調査結果	

進学需要に関する調査

▶ 調査目的

- ✓ 松本学園が計画している「松本看護大学（仮称）」の設置について、長野県松本市を中心とする周辺高校に在籍する高校2年生に興味度・進学検討意向調査から進学需要を確認する。

▶ 調査対象

- ✓ 長野県にある公立・私立高等学校の2年生
 - ・ 調査対象校に事前に調査協力を依頼し、許諾を得た対象校へ調査票を送付。ホームルームなど教室で配布・回収。

▶ 調査期間

- ✓ 令和元年 6月1日～令和元年 8月31日

▶ 有効回収数

- ✓ 37校（回収率73%） 3,852人

▶ 調査協力校

No.	高校名
1	長野県岡谷東高等学校
2	長野県岡谷南高等学校
3	長野県穂高商業高等学校
4	エクセラン高等学校
5	長野県松本蟻ヶ崎高等学校
6	長野県篠ノ井高等学校 犀峡校
7	つくば開成学園高等学校 長野学習センター
8	文化学園長野高等学校
9	長野県田川高等学校
10	長野女子高等学校
11	長野県豊科高等学校
12	東京都市大学塩尻高等学校
13	長野県岡谷工業高等学校
14	長野県蓼科高等学校
15	長野県辰野高等学校
16	長野県梓川高等学校
17	長野県長野南高等学校
18	長野県松本県ヶ丘高等学校
19	松商学園高等学校
20	長野県富士見高等学校
21	長野県高遠高等学校
22	長野県諏訪二葉高等学校
23	長野県南安曇農業高等学校
24	長野県松本工業高等学校
25	長野県下諏訪向陽高等学校
26	長野県篠ノ井高等学校
27	長野県塩尻志学館高等学校

No.	高校名
28	長野県須坂高等学校
29	長野県明科高等学校
30	長野市立長野高等学校
31	長野県諏訪実業高等学校
32	長野県諏訪清陵高等学校
33	長野県茅野高等学校
34	長野県松本深志高等学校
35	長野県松本美須ヶ丘高等学校
36	長野県伊那弥生ヶ丘高等学校
37	信濃むつみ高等学校

問5 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | | |
|----------------|--------------------|--------------------------|
| 1. 取得可能資格・免許 | 10. クラブ活動・学生生活の充実度 | <input type="checkbox"/> |
| 2. 学部・学科の専攻分野 | 11. 自分の性格・適性 | |
| 3. 教育内容 | 12. 担任や進路指導の先生の意見 | <input type="checkbox"/> |
| 4. 教員の充実度 | 13. 家族（親や兄弟）の意見 | |
| 5. 就職指導および就職実績 | 14. 友人の意見 | <input type="checkbox"/> |
| 6. 入試難易度・入試科目 | 15. 大学の現役生や卒業生の意見 | |
| 7. 国立・公立・私立の別 | 16. 学費等の費用面 | <input type="checkbox"/> |
| 8. 学校の所在地 | 17. 伝統・世間での評判 | |
| 9. 校舎・施設の充実度 | 18. その他 | |

設置構想中の松本看護大学（仮称）看護学部では、松本短期大学看護学科における経験を活かし、社会人基礎力と看護実践能力を有した人材を育て、地域社会における保健・医療・福祉の向上及び看護の発展に貢献できる看護職者を養成していきたいと考えています。

問6 あなたは松本看護大学（仮称）の2021年入学に向けた入試を受験したいと思いますか。
次の中から1つだけ選んでください。

- | | | |
|------------|--------------------|------------|
| 1. ぜひ受験したい | 3. 受験先の候補の1つとして考える | 5. 受験したくない |
| 2. 一応受験したい | 4. あまり受験したくない | |

問7 問6で1、2、3のいずれかを選択した方におたずねします。
受験して合格した場合、入学したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | |
|-------------|--------------------|--------|
| 1. 入学を希望する | 3. 入学先の候補の1つとして考える | 5. その他 |
| 2. 一応入学を考える | 4. 入学を希望しない | |

問8 問7で1、2、3のいずれかを選択した方におたずねします。それ以外の方は問9へお進みください。あなたが入学を希望する、あるいは入学を考える理由は何ですか。
次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1. 希望の資格【看護師国家試験受験資格、社会福祉士主任任用資格など】が取得できるから | <input type="checkbox"/> |
| 2. 看護分野に興味があり、教育内容に魅力を感じたから | |
| 3. 他校にはない特色がありそうだから | <input type="checkbox"/> |
| 4. 地元にある大学だから | |
| 5. これまでの実績や評判から信頼できる大学だから | |
| 6. 雰囲気のいい大学だから | |
| 7. その他 | |

問9 松本看護大学（仮称）について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

松本看護大学（仮称）設置構想中 2021年4月（予定）



地域医療の中核を担う多職種連携ができる看護師を育成します。
就職先は病院・介護施設・在宅支援機構の医療福祉関係や保健所などです。

設置	4年制大学
設置学部学科	看護学部看護学科（入学定員70名）
卒業時に得られる資格	学士
学費	159万円（初年度合計）

※予定であり、変更の可能性があります

前進である松本短期大学看護学科は、2006年（平成18）年4月に、看護師を養成する3年生短期大学として誕生。2019年3月までに約415名の看護師を輩出しました。2018年度は、看護師短期大学で“全国唯一”の国家試験合格率100%・就職率100%を誇っています。

取得可能な資格・免許

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格
- 第一種衛生管理者免許
（保健師資格取得後申請）
- 社会福祉主事任用資格
（予定）

想定する就職先・進路

- 医療** 病院 診療所 老人保健施設
訪問看護ステーション
- 福祉** 介護老人福祉施設 老人ホーム ケアハウス
- 行政** 保健所 市町村保健福祉センター 厚生労働省
- 民間** 企業の健康管理部門 製薬企業（MR）
- 進学** 大学院 海外留学 など



松本看護大学（仮称）
学校説明会

松本短期大学オープンキャンパス終了後に実施予定

- 日時** 第1回 2019年 8月 9日（金） 12:00 - 13:00
第2回 2020年 3月 27日（金） 12:00 - 13:00
- 場所** 松本短期大学
- 内容** 松本医療福祉大学の教育内容、取得資格、想定する就職先・進学先、キャンパスライフ等について説明



松本看護大学（仮称）設置準備室
〒399-0033
長野県松本市笹賀3118
Tel 0263-58-4417

調查結果

- ▶ 回答者の進学意向先は大学が最も高く全高校生の51%となった。
- ▶ 4年制大学、短期大学、専門学校に進学する学生のうち477名の学生が看護系の学校に進学を希望している。

- 問. あなたは高校を卒業後、どのような進路をお考えですか。
次の中からもっとも希望に近い進路を、1つだけ選んでください

問3	進学希望先	回答数
1	大学	1953
2	短期大学	278
3	専門学校	865
4	就職・その他・無回答	756
5	合計	3852

51%の学生が
大学の進学を希望

「1. 大学」「2. 短期大学」「3. 専門学校」と回答した高校生に追加で進学分野を質問

- 問. あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。

問4	看護系希望者数	回答数
1	看護学系が第1志望である	335
2	看護学系が第2志望である	142
	合計	477

12%の学生が
看護系の学校に
進学を希望

▶ 4年制大学に進学を希望する学生に対して、看護系大学への進学意向と松本看護大学（仮）への受験意向を調査するため、クロス集計を行った。

■ 問. あなたは高校を卒業後、どのような進路をお考えですか。
次の中からもっとも希望に近い進路を、1つだけ選んでください

問3	進学希望先	回答数
1	大学	1953
2	短期大学	278
3	専門学校	865
4	就職・その他・無回答	756
5	合計	3852

51%の学生が
大学の進学を希望

「1. 大学」と回答した高校生1953人に対し松本看護大学（仮）への
進学意向者をクロス集計した

	看護第一希望である	看護第二希望である
ぜひ受験したい	18	1
受験したい	22	8
受験先の候補の一つとして考える	101	36
あまり受験したくない	32	19
受験したくない	9	12
無回答・その他	3	0
合計	185	76

186人が松本看護大学
（仮）への受験を検討して
いる

261人が看護系大学に進学を
希望している

結論：

大学に進学を希望する1953人中、看護系大学に進学を希望する学生（看護系大学が第一志望或いは第二志望である学生）は261人であった。261人中、松本看護大学（仮）に受験を検討する学生（「ぜひ受験したい」「一応受験したい」「受験先の候補の一つとして考える」と回答した学生）は186人であり、約71%の学生が地元の長野県にある松本看護大学（仮称）への受験を検討している。ここから、学生の地元志向は強いといえる。

- ▶ 松本看護大学（仮称）に受験を希望する高校生は169名、候補とする場合も含めると661名の受験検討者が確認された
- ▶ 受験希望の高校生に進学希望を質問したところ、180名の進学希望者、候補とする場合も含めると577名の進学検討者が確認された

■ 問. あなたは高校を卒業後、どのような進路に進みたいと思っていますか。
最も進みたいと思う選択肢を一つ選んで下さい。

問8	松本看護大学（仮）への受験希望	回答数
1	ぜひ受験したい	56
2	一応受験したい	113
3	受験先の候補の1つとして考える	492
4	あまり受験したくない	1145
5	受験したくない	1863
6	無回答	183
	合計	3852

169名の
受験希望者

661名の
受験検討者を確認

「1. ぜひ受験したい」「2. 一応受験したい」
「3. 受験先の候補の1つとして考える」と回答した方に追加で進学希望を質問

■ 問. あなたは高校を卒業後、どのような進路に進みたいと思っていますか。
最も進みたいと思う選択肢を一つ選んで下さい。

問9	松本看護大学（仮）への進学希望	回答数
1	入学を希望する	79
2	一応入学を考える	101
3	入学先の候補の1つとして考える	397
4	入学を希望しない	31
5	その他	40
6	無回答	13
	合計	661

180名の
進学希望者

577名の
進学検討者を確認

結論：

松本看護大学の入学定員70人に対して「入学を希望する」のみで入学定員以上（入学定員の1.13倍）の学生確保の見通しが得られた。また、「入学を希望する」に「一応入学を考える」「候補の一つ」を加えると入学希望者は577人となり、入学定員の8.2倍に該当する回答者が、松本看護大学に対して何らかの進学希望を持っている結果となった。以上の結果から、長野県内の高校2年生から松本看護大学への受験希望が得られ、学生確保においては十分な見通しがあるといえる。

人材需要に関する調査

▶ 調査目的

- ✓ 松本学園が計画している「松本看護大学（仮称）」の設置について、長野県の松本市を中心とする周辺の病院・診療所・訪問看護ステーション・介護施設といった事業所に松本看護大学（仮称）の卒業生に対する採用意向を確認し、人材需要を確認する。

▶ 調査対象

- ✓ 長野県にある病院、診療所、保健センター、保健福祉事務所、訪問看護ステーションに事前に調査協力を依頼し、承諾を得た対象施設へ調査票を送付。
- ✓ 施設長等の採用に関わる人物に記入を依頼した。

▶ 調査期間

- ✓ 令和元年 6月1日～令和元年 8月31日

▶ 有効回収数

- ✓ 322施設（回収率 41.2%）

▶ 調査協力施設

No	施設名
1	飯山赤十字病院
2	JA長野厚生連 北信総合病院
3	特定医療法人 新生病院
4	飯綱町立 飯綱病院
5	長野赤十字病院
6	医療法人ハイネスライフ 朝日ながの病院
7	医療法人ハイネスライフ 山田記念朝日病院
8	JA長野厚生連 長野松代総合病院
9	長野医療生活協同組合 長野中央病院
10	地方独立行政法人 長野市民病院
11	独立行政法人 国立病院機構 東長野病院
12	JA長野厚生連 南長野医療センター新町病院
13	JA長野厚生連 南長野医療センター篠ノ井総合病院
14	地方独立行政法人 長野県立病院機構 長野県立信州医療センター
15	特定医療法人 財団大西会 千曲中央病院
16	独立行政法人 国立病院機構 信州上田医療センター
17	特定医療法人 丸山会 丸子中央病院
18	JA長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院
19	JA長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター三才山病院
20	川西赤十字病院
21	社会医療法人 恵仁会 くらさわ病院
22	JA長野厚生連 佐久総合病院
23	JA長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター
24	佐久市立国保 浅間総合病院
25	JA長野厚生連 浅間南麓こもろ医療センター
26	国民健康保険 依田窪病院
27	軽井沢町国民健康保険 軽井沢病院
28	市立大町総合病院
29	JA長野厚生連 北アルプス医療センター あずみ病院
30	安曇野赤十字病院
31	地方独立行政法人 長野県立病院機構 長野県立こども病院
32	医療法人 仁雄会 穂高病院
33	独立行政法人 国立病院機構 まつもと医療センター
34	医療法人 心泉会 上條記念病院
35	社会医療法人 財団慈泉会 相澤病院
36	社会医療法人 財団慈泉会 相澤東病院
37	社会医療法人 中信勤労者医療協会 松本協立病院
38	松本市立病院
39	社会医療法人 抱生会 丸の内病院
40	医療法人 藤森医療財団 藤森病院
41	社会医療法人 城西医療財団 城西病院
42	医療法人 青樹会 一之瀬脳神経外科病院
43	医療法人 愛生会 松岡病院
44	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
45	医療法人 元山会 中村病院
46	社会医療法人 中信勤労者医療協会 塩尻協立病院
47	医療法人 社団敬仁会 桔梗ヶ原病院
48	地方独立行政法人 長野県立病院機構 長野県立木曾病院
49	JA長野厚生連 富士見高原医療福祉センター 富士見高原病院
50	諏訪中央病院組合 諏訪中央病院
51	諏訪赤十字病院
52	社会医療法人 南信勤労者医療協会 諏訪共立病院
53	岡谷市民病院
54	医療法人 研成会 諏訪湖畔病院
55	町立辰野病院
56	下伊那赤十字病院
57	JA長野厚生連 下伊那厚生病院
58	伊南行政組合 昭和伊南総合病院
59	上伊那医療生活協同組合 上伊那生協病院
60	伊那中央病院
61	医療法人 暁会 仁愛病院
62	飯田市立病院
63	医療法人 輝山会 輝山会記念病院
64	社会医療法人 栗山会 飯田病院
65	社会医療法人 健和会 健和会病院
66	地方独立行政法人 長野県立病院機構 長野県立阿南病院
67	林外科医院
68	翠川医院
69	釜口医院
70	平林医院
71	花岡医院
72	浜整形・形成外科医院
73	向山内科医院
74	今井整形外科
75	山崎医院

76	野村ウィメンズクリニック
77	医療法人 小野医院
78	今井内科胃腸科クリニック
79	酒井医院
80	宮内皮膚科クリニック
81	つるみね共立診療所
82	山田外科医院
83	イマムラ脳神経外科クリニック
84	春山眼科医院
85	サツマ外科医院
86	林内科・循環器科クリニック
87	牛山医院
88	メンタルクリニックおかや
89	林眼科醫院
90	小口医院
91	川岸医院
92	よねやま内科クリニック
93	諏訪市湖南診療所
94	関医院
95	小松内科クリニック
96	上諏訪眼科クリニック
97	栗林眼科医院
98	松本医院
99	濱医院
100	生々堂矢島医院
101	はやし小児科内科
102	医療法人 柳澤医院
103	薄井内科医院
104	山口医院
105	青木産婦人科医院
106	渡辺内科クリニック
107	諏訪豊田診療所
108	吉江内科医院
109	宮坂医院
110	塩沢医院
111	くぼた耳鼻咽喉科医院
112	小島クリニック
113	小児科ごとうクリニック
114	あおぞらレディス&マタニティクリニック
115	清水クリニック
116	なかす内科医院
117	岸耳鼻咽喉科医院
118	諏訪地区小児夜間急病センター
119	さくち泌尿器科クリニック
120	医療法人 新誠会 宮坂クリニック諏訪
121	高林内科呼吸器クリニック
122	長野県厚生連 富士見高原医療福祉センター みづうみ診療所
123	清水眼科医院
124	花岡医院
125	やざわ虎クリニック
126	湖南関医院
127	花田眼科
128	こやま乳腺・甲状腺クリニック
129	こうのハートクリニック
130	みやざき皮膚科クリニック
131	きみづか整形外科
132	あるがクリニック
133	五味医院
134	いちよう並木クリニック
135	大和整形・脳外科クリニック
136	ふたば小児科
137	上原内科小児科医院
138	塚田医院
139	耳鼻咽喉科 三田医院
140	藤森眼科
141	葛井耳鼻咽喉科
142	ちの皮フ科
143	小口医院
144	小口医院 金沢診療所
145	玉川診療所
146	兵藤整形外科医院
147	眞田医院
148	細田眼科医院
149	ちの泌尿器科
150	土橋整形外科歯科医院

▶ 調査協力施設

151	リバーサイドクリニック
152	泉野診療所
153	おもだか皮膚科
154	ちのメンタルクリニック
155	矢嶋内科医院
156	尖石診療所
157	櫻井内科医院
158	ほのほの透析クリニック
159	ともみ内科医院
160	平岡産婦人科
161	往診クリニックちの
162	特別養護老人ホームりんどう苑診療所
163	原田内科呼吸ケアクリニック
164	医療法人こまくさ会池田医院
165	浅川クリニック 内科循環器内科
166	介護老人福祉施設 ふれあいの里
167	平出クリニック内科・産婦人科
168	みうら内科クリニック
169	北山診療所
170	ヨコイ眼科
171	松井内科医院
172	ライフクリニック 歯科
173	平山医院
174	高浜医院
175	西川小児科医院
176	三沢医院
177	市瀬医院
178	あざみ胃腸科クリニック
179	溝口医院
180	医療法人諏訪皮膚科クリニック
181	さとう眼科医院
182	諏訪メンタルクリニック
183	小林医院
184	小池医院
185	しらかば園診療所
186	富士見やまびこクリニック
187	原村国民健康保険直営診療所
188	長野県厚生連富士見高原医療福祉センター-中新田診療所
189	大槻医院
190	大脇医院
191	芦沢医院
192	医療法人篠崎医院
193	下島医院
194	田澤医院
195	医療法人原内科医院
196	なんてんの里診療所
197	木曾ひよし診療所
198	木曾みたけ診療所
199	サニーヒルきそ診療所
200	医療法人奥原医院
201	王滝村国民健康保険直営王滝診療所
202	池口医院
203	古根医院
204	藤井耳鼻咽喉科気管食道科医院
205	前澤医院
206	武内整形外科医院
207	上條産婦人科医院
208	医療法人東星会東城クリニック
209	唐沢整形外科麻酔科医院
210	伊藤内科医院
211	長岡医院
212	松本市医師会医療センター 診療所
213	五十嵐外科医院
214	小金平産婦人科皮膚科医院
215	上條小児科医院
216	佐藤耳鼻咽喉科医院
217	深志内科
218	松岡眼科医院
219	二木医院
220	溝上医院
221	渡辺内科医院
222	山岡内科医院
223	洞沢医院
224	中野医院
225	小穴医院

226	塩原医院
227	国府町眼科
228	伊東内科医院
229	川上医院
230	百瀬医院
231	大生会大野医院
232	医療法人丹羽外科医院
233	医療法人池上医院
234	愛育呉屋産婦人科
235	須澤内科小児科医院
236	あずさ整形外科医院
237	山村医院
238	かとうメンタルクリニック
239	川原医院
240	三沢医院
241	松岡小児科医院
242	松田内科医院
243	小澤内科医院
244	北澤医院
245	奥平医院
246	医療法人岡野医院
247	山辺温泉花岡整形外科
248	松岡内科医院
249	三輪眼科医院
250	信州大学総合健康安全センター
251	高山内科明生会
252	英駿会大久保クリニック
253	医療法人唐澤内科小児科医院
254	原内科医院
255	藤田医院
256	上條医院
257	あずさ耳鼻咽喉科クリニック
258	宮澤整形外科医院
259	医療法人品川内科医院
260	医療法人上條耳鼻咽喉科医院
261	福澤医院
262	窪田外科胃腸科医院
263	喜生会塩ノ崎医院
264	医療法人誠仁会降旗医院
265	立田クリニック
266	恵樹会望月整形外科
267	山岸医院
268	くぼた眼科
269	田中医院
270	横田耳鼻咽喉科医院
271	島内診療所
272	大久保皮膚科医院
273	やまびこの里診療所
274	なかざわ小児科医院
275	医療法人梓誠会梓川診療所
276	山村小児科医院
277	高山医院
278	ささらの里診療所
279	前田整形外科医院
280	松平会平林眼科医院
281	藤森内科医院
282	今村こどもクリニック
283	みぞうえ内科医院
284	裏川眼科
285	伊藤内科医院
286	小林内科医院
287	二條皮ふ科クリニック
288	ふなくぼ耳鼻咽喉科医院
289	折口耳鼻咽喉科医院
290	西山眼科
291	中田整形外科
292	なわた耳鼻咽喉科クリニック
293	北島医院
294	医療法人民蘇堂野中眼科
295	芳樹会内科診療所
296	せきクリニック
297	飯沼こどもクリニック
298	宮島耳鼻咽喉科医院
299	丸山クリニック
300	中野内科消化器科医院

▶ 調査協力施設

301	鈴木整形外科
302	医療法人(社団)みのしまクリニック
303	サルビア診療所
304	芽ぐみ野内科・胃腸科クリニック
305	矢崎医院
306	多田内科医院
307	十全堂武田内科医院
308	折井クリニック
309	あかはね内科・神経内科医院
310	わかばレディース&マタニティクリニック
311	花岡こどもクリニック
312	しらゆり内科・循環器科クリニック
313	上條医院
314	吉野産婦人科医院
315	皮膚科徳田医院
316	野村医院
317	鈴木耳鼻咽喉科医院
318	原こどもクリニック
319	すずき内科クリニック
320	医療法人社団薫茶会石倉クリニック松本院
321	南天診療所
322	大池内科クリニック
323	北原レディースクリニック
324	河野外科医院
325	五十嵐内科医院
326	しのざき内科呼吸器科クリニック
327	石川醫院
328	小谷ウィメンズクリニック
329	中嶋医院
330	降旗ハートクリニック
331	中垣内科医院
332	かみむらクリニック
333	松本市小児科・内科夜間急病センター
334	松本市国民健康保険奈川診療所
335	松本市安曇沢渡診療所
336	松本市安曇稲核診療所
337	まつもと眼科クリニック
338	みやばやしこどもクリニック
339	村山内科医院
340	金井医院
341	やまだ小児科クリニック
342	森口整形外科医院
343	久保田外科医院
344	雪村医院
345	浅野メンタルクリニック
346	こばやしクリニック
347	神應透析クリニック
348	小口内科クリニック
349	清水メンタルクリニック
350	三村・洗木眼科医院
351	横西産婦人科
352	清水整形外科クリニック
353	クリニカタナカ
354	平林内科クリニック
355	和田整形外科医院
356	ひろ内科医院
357	医療法人井門泌尿器科医院
358	中村眼科
359	くさま内科クリニック
360	しのざきこどもクリニック
361	宮下内科循環器クリニック
362	小澤メンタルクリニック
363	ゆり産婦人科医院
364	唐沢内科医院
365	長谷川ペインクリニック
366	松塩クリニック透析センター
367	はたクリニック
368	古畑泌尿器科クリニック
369	萩原医院
370	木下整形外科・小児科
371	さがみ屋泌尿器科クリニック
372	宮本内科クリニック
373	どひ皮膚科クリニック
374	温心療養所
375	ユイメディカルクリニック

376	ミモザマンクリニック
377	医療法人篠崎医院
378	永田眼科医院
379	宜保内科消化器・肝臓内科クリニック
380	杉山外科医院
381	みこしば皮膚科医院
382	小林耳鼻咽喉科医院
383	医療法人慶和会花村医院
384	小見山医院
385	ひまわりクリニック
386	中村内科小児科医院
387	肛門外科渡辺医院
388	相野田医院
389	倉科医院
390	高島小児科医院
391	小口耳鼻咽喉科医院
392	小岩井内科クリニック
393	みゆきの坂風上がリクリニック
394	谷川整形外科クリニック
395	紺谷泌尿器科クリニック
396	やまぐちクリニック
397	せき整形外科
398	長野県農業協同組合連合会北アルプス医療センターあるぶすメンタ
399	こやま内科クリニック
400	柿澤内科医院
401	たぎざわ脳神経外科クリニック
402	松本山雅FCクリニック
403	赤羽医院
404	ほりうちレディースクリニック
405	みやいりクリニック
406	松原台診療所武田内科医院
407	東京青山クリニック松本院
408	浅田記念クリニック
409	松本市安曇大野川診療所
410	松本市安曇鳥々診療所
411	畠山眼科医院
412	ばん皮フ形成外科クリニック
413	なかむらクリニック
414	ふじた形成外科・皮膚科クリニック
415	なのはな みみ・はなのどクリニック
416	三村医院
417	整形外科・リハビリテーション科 うすいクリニック
418	さくら血管病クリニック
419	鈴木医院
420	田村内科医院
421	横山内科医院
422	三沢医院
423	耳鼻咽喉科吉江医院
424	医療法人奈良井医院
425	象先堂田村眼科医院
426	清水外科胃腸科医院
427	緑ヶ丘青木医院
428	種山医院
429	まつだアイクリニック
430	赤羽医院
431	広仁堂医院
432	もみの木こどもクリニック
433	飯沼クリニック
434	吉田原耳鼻咽喉科
435	しいな医院
436	柳沢内科クリニック
437	荒井内科小児科医院
438	こまくさ野村クリニック
439	中山外科内科
440	塩尻市国民健康保険櫛川診療所
441	今井医院
442	ひろおかさくレディースウィメンズクリニック
443	小口内科医院
444	上條医院耳鼻咽喉科
445	百瀬医院
446	ふるや内科クリニック
447	穂苺整形外科リウマチクリニック
448	たなべ泌尿器科クリニック
449	こしはら内科クリニック
450	皮ふ科わくいクリニック

▶ 調査協力施設

451	しおほら小児科・皮膚科クリニック
452	ひろおか上條クリニック
453	石田医院
454	中村内科医院
455	堀内医院
456	鶴見医院
457	神谷小児科医院
458	医療法人至誠会小穴クリニック
459	古川医院
460	穂高悠生寮診療所
461	根津内科医院
462	小田切医院
463	医療法人丸山整形外科医院
464	健明会やざぎ診療所
465	宮澤眼科医院
466	あづみ野眼科
467	孝明館診療所
468	博愛会中田医院
469	医療法人山本耳鼻咽喉科
470	平林医院
471	和田医院
472	古川整形外科医院
473	小林医院
474	村山医院
475	内山皮膚科クリニック
476	米倉医院
477	医療法人民蘇堂あかしな野中眼科
478	医療法人丸山内科クリニック
479	百瀬医院
480	前角整形外科医院
481	塔の原内川医院
482	高橋医院
483	追分クリニック
484	たかはしクリニック
485	宮澤医院
486	山田眼科医院
487	土屋クリニック
488	白木医院
489	ふじもり医院
490	木暮医院
491	あずみの里診療所
492	横山眼科医院
493	信濃内科循環器科医院
494	伊藤医院
495	医療法人篠崎医院豊科診療所
496	さかき皮膚科
497	穂高の森メンタルクリニック
498	安曇野形成皮ふクリニック
499	こうの内科循環器科
500	須澤クリニック
501	京島クリニック
502	あづみ野レディースクリニック
503	赤津整形外科クリニック
504	安曇野市夜間急病センター
505	せき泌尿器科クリニック
506	池田医院
507	こばやし内科クリニック
508	あおぞら産婦人科
509	山田医院
510	中宣医院
511	おひさまクリニック
512	樽本内科医院
513	武田内科クリニック
514	太田皮膚科クリニック
515	ヴェリタス掘金診療所
516	柏原クリニック
517	安曇野ストレスケアクリニック
518	虹の村診療所
519	宮島耳鼻咽喉科医院
520	ももせクリニック
521	安曇野ななき診療所
522	あさひ内科クリニック
523	あづみ野平林整形外科
524	穂高ハートクリニック
525	穂高アイクリニック

526	安曇野クリニック
527	サンライフおみ診療所
528	玉井会玉井医院
529	山口内科
530	横山医院
531	山形協立診療所
532	宮原医院
533	山形整形外科クリニック
534	三村医院
535	鳥羽医院
536	筑北村国民健康保険診療所
537	天祐堂松林医院
538	石曾根医院
539	小野医院
540	伊東医院
541	平林医院
542	医療法人狩谷整形外科医院
543	医療法人回生会栗林医院
544	菊地クリニック
545	遠藤内科医院
546	柿下クリニック
547	平林耳鼻咽喉科医院
548	加藤診療所
549	かさぎ皮ふ科
550	大町市国民健康保険八坂診療所
551	大町市国民健康保険美麻診療所
552	宮澤眼科医院
553	横澤内科医院
554	中澤医院
555	野村クリニック
556	大町協立診療所
557	永井眼科医院
558	千葉眼科
559	最上整形外科クリニック
560	松田医院
561	はーぶの里診療所
562	太田医院
563	平林メンタルクリニック
564	すずらん内科クリニック
565	みどりクリニック
566	若林医院
567	近藤医院
568	吉村医院
569	西森整形外科
570	岡村眼科医院
571	松本クリニック
572	横沢医院
573	栗田医院
574	しんたにクリニック
575	神城醫院
576	小谷村国民健康保険小谷村診療所
577	松代保健福祉センター
578	王滝村保健福祉センター
579	安曇保健福祉センター
580	松本市南部保健センター
581	松本市北部保健センター
582	中央保健センター(M-ウィング南棟5階)
583	西部保健センター(波田保健福祉センター内)
584	高山村保健福祉総合センター
585	大町市八坂保健センター
586	中野保健センター
587	美麻保健センター
588	飯島町保健センター
589	伊那市保健センター
590	伊那市高遠町保健センター
591	長野市大岡保健センター
592	長野市鬼無里保健センター
593	長野市犀南保健センター
594	長野市三陽保健センター
595	長野市東部保健センター
596	長野市戸隠保健センター
597	長野市豊野保健センター
598	長野市北部保健センター
599	長野市吉田保健センター
600	長野市真島保健センター

▶ 調査協力施設

601	野沢温泉村保健センター
602	長野市西部保健センター
603	佐久保健福祉事務所
604	諏訪保健福祉事務所
605	上田保健福祉事務所
606	伊那保健福祉事務所
607	飯田保健福祉事務所
608	木曾保健福祉事務所
609	大町保健福祉事務所
610	松本保健福祉事務所
611	長野保健福祉事務所
612	北信保健福祉事務所
613	長野市保健所
614	訪問看護ステーションふれあい田町
615	長野県厚生農業協同組合連合会訪問看護ステーションしののけ
616	訪問看護ステーションまつしろ
617	訪問看護ステーションながの
618	長野赤十字訪問看護ステーション
619	訪問看護ステーション愛和
620	訪問看護ステーションコスモス
621	訪問看護ステーション嫩草
622	ニチイケアセンター篠ノ井中央訪問看護ステーション
623	コンフォート訪問看護ステーション
624	訪問看護ステーションこころ
625	訪問看護ステーションあゆみ
626	ケアーズ訪問看護ステーションながのの看護
627	長野市民病院訪問看護ステーション
628	訪問看護ステーション暖家
629	訪問看護かえりえ長野
630	訪問看護ステーションデューン長野
631	コンフォート在宅サービスステーション
632	訪問看護ステーションよつ葉
633	むすびの森篠ノ井訪問看護ステーション
634	訪問看護ステーションフィオーレ
635	訪問看護ステーションとよの
636	訪問看護ステーションしんまち
637	戸隠介護サービスセンター訪問看護事業所
638	松本西訪問看護ステーション
639	松本協立訪問看護ステーションすみれ
640	医療法人心泉会ローズガーデン訪問看護ステーション
641	相澤訪問看護ステーションひまわり
642	丸の内訪問看護ステーション
643	公益社団法人長野県看護協会南松本訪問看護ステーション
644	藤森訪問看護ステーション
645	ゆめの里和田訪問看護ステーション
646	医療法人深聖会訪問看護ほつとステーション
647	訪問看護ステーションメモディー
648	訪問看護ステーションめぐみ
649	一之瀬訪問看護ステーション
650	松本市立病院訪問看護ステーション
651	訪問看護ステーションあず
652	訪問看護ステーションあおいそら
653	愛光苑訪問看護ステーション
654	訪問看護ステーションあけみ野
655	峠茶屋訪問看護ステーション
656	エミナス訪問看護ステーション
657	訪問看護ステーションしやいん
658	なべりん訪問看護あいステーション
659	訪問看護ステーションほつと・はあと
660	ニチイケアセンター寿中訪問看護ステーション
661	北大手訪問看護ステーション
662	上田中央訪問看護ステーション
663	塩田訪問看護ステーション
664	神科訪問看護ステーション
665	訪問看護ステーションやまびこ
666	上田生協訪問看護ステーション
667	大屋リハビリ訪問看護ステーション
668	ニチイケアセンター上田緑が丘訪問看護ステーション
669	A愛ホーム訪問看護ステーション
670	訪問看護ステーション ポプラ
671	訪問看護ステーション芳田
672	訪問看護ステーションやまなみ
673	そよ風訪問看護ステーション
674	訪問看護ステーション真田
675	訪問看護ステーションしらゆり

676	岡谷市訪問看護ステーション
677	訪問看護ステーション「おさち」
678	ニチイケアセンターおかや訪問看護ステーション
679	やさしい手わかみや訪問看護ステーション
680	公益社団法人長野県看護協会飯伊訪問看護ステーション
681	飯田市訪問看護ステーション
682	輝山会訪問看護ステーション
683	飯田病院訪問看護ステーションたんぼぼ
684	訪問看護ステーション健和会
685	ふたば訪問看護ステーション
686	訪問看護ステーションわか葉
687	訪問看護ステーションaffection
688	諏訪赤十字訪問看護ステーション
689	訪問看護ステーションみづづみ
690	公益社団法人長野県看護協会須高訪問看護ステーション
691	訪問看護ステーションしらかば
692	訪問看護ステーションこもろ
693	訪問看護ステーションのぞみ
694	エフビー訪問看護ステーションとちの実
695	訪問看護ステーションすずたけ
696	ふれ愛センター伊那北 訪問看護ステーション
697	伊那中央病院訪問看護ステーション
698	伊南訪問看護ステーション
699	訪問看護ステーションゆりかご
700	訪問看護ステーションなかの
701	訪問看護ステーションせせらぎ
702	訪問看護ステーションちとせ
703	大町市訪問看護ステーション
704	飯山赤十字訪問看護ステーション
705	訪問看護ステーションあいあい
706	訪問看護ステーションきたしなの
707	訪問看護ステーションりんどう
708	訪問看護ステーションこまくさ
709	諏訪中央病院訪問看護ステーションいろは
710	あん訪問看護ステーション
711	訪問看護ステーション社協・ふれあい
712	塩尻協立訪問看護ステーションこすもす
713	相澤訪問看護ステーションひまわり塩尻事業所
714	桔梗ヶ原病院訪問看護ステーション
715	ハートフル訪問看護ステーション広丘
716	ケイジン訪問看護ステーション中込
717	ケイジン訪問看護ステーション塚原
718	訪問看護ステーション岩村田
719	訪問看護ステーションあさま
720	Aライン訪問看護ステーション
721	訪問看護ステーションのぞみサンピア
722	エフビー訪問看護ステーションさく
723	訪問看護ステーションわかば
724	訪問看護ステーションほのか
725	らいおんハート訪問看護ステーション佐久
726	訪問看護ステーションばんり
727	佐久総合病院訪問看護ステーション
728	川西赤十字訪問看護ステーション
729	訪問看護ステーションアブリコット
730	訪問看護ステーション治田の里
731	訪問看護ステーションスマイル
732	訪問看護ステーションはる風
733	訪問看護ステーション殖生
734	訪問看護ステーションリカバリー
735	訪問看護ステーションみまき
736	公益社団法人長野県看護協会訪問看護ステーションしらかば
737	訪問看護ステーションねつ
738	安曇野南訪問看護ステーション
739	安曇野北訪問看護ステーション
740	安曇野赤十字訪問看護ステーション
741	訪問看護ステーションアイ・ユーほたか
742	訪問看護ステーションあずみの里
743	安曇野市社協訪問看護ステーション
744	篠崎訪問看護ステーション
745	訪問看護ステーションつばさ
746	訪問看護ステーションきずな
747	アイ訪問看護ステーション笑楽笑
748	訪問看護ステーションこうみ
749	川上村訪問看護ステーション
750	訪問看護ステーションやちほ

▶ 調査協力施設

751	佐久穂町訪問看護ステーション
752	訪問看護ステーションかるいざわ
753	訪問看護ステーション御代田
754	訪問看護ステーション Medical Support Team
755	ラポートあおき 訪問看護ステーション
756	訪問看護ステーションよだくぼ
757	諏訪共立訪問看護ステーション
758	訪問看護ステーションふじみ
759	辰野町訪問看護ステーション
760	訪問看護ステーションみどり
761	訪問看護ステーションふれあい
762	みなかた訪問看護ステーション
763	下伊那赤十字訪問看護ステーション
764	訪問看護ステーションふれあい
765	円会訪問看護ステーション
766	南部訪問看護ステーションさくら
767	あち訪問看護ステーション
768	公益社団法人長野看護協会木曾訪問看護ステーション
769	山形協立訪問看護ステーションなでしこ
770	訪問看護ステーションあづみ
771	いけだ訪問看護ステーション
772	訪問看護ステーションいやし
773	訪問看護ステーションフローラ
774	訪問看護ステーションはくば
775	北アルプス訪問看護ステーション
776	訪問看護ステーション希望
777	訪問看護ステーション しなのぐらし
778	こもれび訪問看護ステーション
779	訪問看護ステーションたかやしろ
780	飯綱訪問看護ステーション

看護大学の新設に関する調査のお願い

この調査は、学校法人松本学園が「**松本看護大学**（仮称）」の設置を構想する上での基礎資料とさせていただきます。
調査の結果は許可なく第三者に開示することはありません。調査にご協力をお願いいたします。
回答は回答欄にご記入ください。

はじめに、貴事業所についてお伺いいたします。

問 1. 貴事業所の種類をお選びください。あてはまるものを一つ選んで下さい。

1. 病院（200床以上） 2. 病院（199床以下） 3. 診療所
4. 保険福祉事務所・保健センター 5. 訪問看護ステーション 6. 介護施設
7. その他（ ）

回答欄

問 2. 貴事業所に現在勤務されている看護師さん・保健師さんの人数をお答えください。

看護師 名

保健師 名

問 3. 現在必要な看護師さんは確保できていますか？

あてはまるものを一つ選んで下さい。確保できていない場合、何名不足していますか？

1. 確保できている 2. 確保できていない

(不足 名)

問 4. 現在必要な保健師さんは確保できていますか？

あてはまるものを一つ選んで下さい。確保できていない場合、何名不足していますか？

1. 確保できている 2. 確保できていない

(不足 名)

問 5. 将来貴事業所における看護師さんの需要について、どのようにお考えになりますか。

あてはまるものを一つ選んで下さい。

1. 増加する 2. 増加しない 3. わからない

問 6. 将来貴事業所における保健師さんの需要について、どのようにお考えになりますか。

あてはまるものを一つ選んで下さい。

1. 増加する 2. 増加しない 3. わからない

問 7. 看護師・保健師の大学教育について、どのようにお考えですか。あてはまるものを一つ選んで下さい。

1. 必要性を感じる 2. 必要性を感じない 3. どちらともいえない

問 8. 看護師・保健師の大学教育に何を期待されますか。（複数回答可）

1. 研究能力 2. 豊かな人間性 3. 看護実践力 4. 指導力 5. 傾聴力
6. 実行力 7. その他（ ）

ここからは、貴事業所の 2019 年 4 月入職の**看護師さん、保健師さんの新卒採用**についてお伺いいたします。

問 9. 2019 年 4 月入職の、看護師さんの採用目標数は何人でしたか。

	名
--	---

問 10. 2019 年 4 月入職の、保健師さんの採用目標数は何人でしたか。

	名
--	---

問 11. 2019 年 4 月採用の**新卒の看護師さん**は何人でしたか。また、そのうち大学卒業者は何名でしたか。

名	うち大学卒業者	名
---	---------	---

問 12. 2019 年 4 月採用の**新卒の保健師さん**は何人でしたか。また、そのうち大学卒業者は何名でしたか。

名	うち大学卒業者	名
---	---------	---

ここからは、現在設置を計画している「**松本看護大学(仮称)**」についてお伺いいたします。
別紙資料をお読みいただき、次の質問にお答えください。

問 13. 松本看護大学（仮称）では、別紙資料にある項目を特色として開学する予定です。
大学への期待度について、あてはまるものを一つ選んで下さい。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても期待している | 2. ある程度、期待している |
| 3. あまり期待していない | 4. まったく期待していない |
| 5. わからない | |

--

問 14. 「松本看護大学（仮称）」で学んだ学生の採用について、あてはまるものを一つ選んで下さい。

1. ぜひ採用したい
2. 採用したい
3. 採用を検討してもよい
4. あまり採用をしたくない
5. 採用したくない

} ⇨ 1、2、3 を選択された方にお伺いします
採用可能と思われる人数をご記入ください

	採用可能人数 名
--	-------------

問 11. 「松本看護大学（仮称）」に対して、お気づきの点・ご要望などございましたら、ご記入ください。

--

質問はこれで終了です。調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

松本看護大学（仮称）設置構想中 2021年4月（予定）



地域医療の中核を担う多職種連携ができる看護師を育成します。
就職先は病院・介護施設・在宅支援機構の医療福祉関係や保健所などです。

設置	4年制大学
設置学部学科	看護学部看護学科（入学定員70名）
卒業時に得られる資格	学士
学費	159万円（初年度合計）

※予定であり、変更の可能性があります

前進である松本短期大学看護学科は、2006年（平成18）年4月に、看護師を養成する3年生短期大学として誕生。2019年3月までに約415名の看護師を輩出しました。2018年度は、看護師短期大学で“全国唯一”の国家試験合格率100%・就職率100%を誇っています。

取得可能な資格・免許

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格
- 第一種衛生管理者免許
（保健師資格取得後申請）
- 社会福祉主事任用資格
（予定）

想定する就職先・進路

- 医療** 病院 診療所 老人保健施設
訪問看護ステーション
- 福祉** 介護老人福祉施設 老人ホーム ケアハウス
- 行政** 保健所 市町村保健福祉センター 厚生労働省
- 民間** 企業の健康管理部門 製薬企業（MR）
- 進学** 大学院 海外留学 など



松本看護大学（仮称）

学校説明会

松本短期大学オープンキャンパス終了後に実施予定

日時 第1回 2019年 8月 9日（金） 12:00 - 13:00

第2回 2020年 3月 27日（金） 12:00 - 13:00

場所 松本短期大学

内容 松本医療福祉大学の教育内容、取得資格、
想定する就職先・進学先、キャンパスライフ等について説明



松本看護大学（仮称）設置準備室

〒399-0033
長野県松本市笹賀3118
Tel 0263-58-4417

調查結果

- ▶ 322施設中144施設（44.7%）で看護師が不足。不足数は合計335名となった。
- ▶ 322施設中25施設（7.7%）で保健師が不足。不足数は合計31名となった。

■ 問. 貴事業所の種類をお選びください。あてはまるものを一つ選んで下さい。

問1	事業所の種類	回答数
1	病院（200床以上）	21
2	病院（199床以下）	28
3	診療所	129
4	保健福祉事務所	1
5	訪問看護ステーション	84
6	介護施設	43
7	その他	16

■ 問. 貴事業所に現在勤務されている貴事業所に現在勤務されている看護師さ・保健師さんの人数をお答えください。

問2	勤務している看護師・保健師の人数	回答数
1	看護師	11,443
2	保健師	773

■ 問. 現在必要な看護師さんは確保できていますか？
あてはまるものを一つ選んで下さい。確保できていない場合、何名不足していますか？

問3	必要な看護師の確保について	回答数
1	確保できている	196
2	確保できていない	114
	不足数合算値	335

**322施設中
114施設（35%）**

**で看護師が不足。
不足数は合計335名**

■ 問. 現在必要な保健師さんは確保できていますか？
あてはまるものを一つ選んで下さい。確保できていない場合、何名不足していますか？

問4	必要な保健師の確保について	回答数
1	確保できている	80
2	確保できていない	25
	不足数合算値	31

**322施設中
25施設（7.7%）**

**で保健師が不足。
不足数は合計31名**

- ▶ 322施設中124施設（39.1%）で看護師需要は増加している。
- ▶ 322施設中244施設（75.8%）が看護師・保健師の大学教育が必要であると感じている。

■ 問. 将来貴事業所における看護師さんの需要について、どのようにお考えになりますか。あてはまるものを一つ選んで下さい。

問5	看護師の需要について	回答数
1	増加する	124
2	増加しない	107
3	わからない	89

**322施設中
124施設（38.5%）**

**で看護師需要は増加
している。**

■ 問. 将来貴事業所における保健師さんの需要について、どのようにお考えになりますか。あてはまるものを一つ選んで下さい。

問6	保健師の需要について	回答数
1	増加する	31
2	増加しない	139
3	わからない	112

■ 問. 看護師・保健師の大学教育について、どのようにお考えですか。あてはまるものを一つ選んで下さい。

問7	看護師・保健師の大学教育について	回答数
1	必要性を感じる	244
2	必要性を感じない	5
3	どちらともいえない	68

**322施設中
244施設（75.8%）**

**が看護師・保健師の
大学教育が必要である
と感じている**

- ▶ 322施設中243施設（75.5%）が大学教育にて「豊かな人間性」の教育に期待し、322施設中246施設（76.4%）が大学教育にて「看護実践力」の教育に期待している。
- ▶ 929名の採用目標に対し598名の採用実績から、331名の看護師採用枠が未充足であると推定される。
- ▶ 101名の採用目標に対し48名の採用実績から53名の保健師採用枠が未充足であると推定される。

■ 問. 看護師・保健師の大学教育に何を期待されますか。（複数回答可）

問8	看護師・保健師の大学教育に期待すること	回答数
1	研究能力	69
2	豊かな人間性	243
3	看護実践力	246
4	指導力	94
5	傾聴力	96
6	実行力	114
7	その他	13

322施設中
243施設（75.5%）
が大学教育にて「豊かな人間性」の教育に期待

322施設中
246施設（76.4%）
が大学教育にて「看護実践力」の教育に期待

- 問. 2019年4月入職の、看護師さんの採用目標数は何人でしたか。
- 問. 2019年4月入職の、保健師さんの採用目標数は何人でしたか。

問9	2019年4月入職の看護師採用目標数	回答数
	目標数合算値	929

問10	2019年4月入職の保健師採用目標数	回答数
	目標数合算値	101

929名採用目標に対し
598名の採用実績から

331名の看護師採用枠
が未充足である

- 問. 2019年4月採用の新卒の看護師さんは何人でしたか。
また、そのうち大学卒業者は何名でしたか。
- 問. 2019年4月採用の新卒の保健師さんは何人でしたか。
また、そのうち大学卒業者は何名でしたか。

問11	2019年4月採用の新卒看護師数	回答数
	新卒看護師数合算値	598
	内大学卒業者合算値	223

問12	2019年4月採用の新卒保健師数	回答数
	新卒保健師数合算値	48
	内大学卒業者合算値	37

101名採用目標に対し
48名の採用実績から

53名の保健師採用枠
が未充足である

- ▶ 322施設中276施設（86%）が松本看護大学（仮称）に何らかしらの期待をしている。
- ▶ 322施設中111施設（34.4%）が松本看護大学（仮称）の卒業生に対して採用する意向があり、「ぜひ採用したい」「採用したい」と回答した施設に採用可能枠を質問した結果。323名の採用枠が確認された。

- 問. 松本看護大学（仮称）では、別紙資料にある項目を特色として開学する予定です。大学への期待度について、あてはまるものを一つ選んで下さい。

問13	大学への期待度	回答数
1	とても期待している	145
2	ある程度、期待している	131
3	あまり規程していない	12
4	まったく期待していない	2
5	わからない	29

322施設中
276施設（86%）
が松本看護大学（仮称）に何らかしらの期待をしている

- 問. 「松本看護大学（仮称）」で学んだ学生の採用について、あてはまるものを一つ選んで下さい。

問14	採用について	回答数
1	ぜひ採用したい	55
2	採用したい	56
3	採用を検討してもよい	118
4	あまり採用をしたくない	20
5	採用したくない	13
	採用可能人数合算値	323

322施設中
111施設（34.4%）
が松本看護大学（仮称）の卒業生に対して採用する意向がある

「ぜひ採用したい」「採用したい」と回答した施設に採用可能枠を質問した結果。323名の採用枠が確認された。

結論：

アンケートの結果、322施設から有効回答が得られ、そのうち35%にあたる114施設で必要な看護師を確保できていない結果となった。施設で不足している看護師数を合計すると335人の看護師が地域で不足しており、看護師の人材需要の高さが伺える。

また、「大学への期待度について、どの程度ご期待いただけますか。」という質問に対し、全体の86%にあたる276施設が「とても期待している」又は「ある程度、期待している」と回答し、松本看護大学（仮称）に対し何らかの期待をしている結果となった。また、松本看護大学（仮称）を卒業した人材への採用意向については回答件数256施設中、21%にあたる55施設が「ぜひ採用したい」と回答し、21%にあたる56施設が「採用したい」と回答した。「ぜひ採用したい」又は「採用したい」と回答した施設に対し、「採用可能と思われる人数をご記入ください」と質問した結果、323名の採用可能枠が確認された。以上の結果から、松本看護大学（仮称）で学んだ人材への需要は高く、卒業後の進路は十分に見込めるものといえる。

学生の確保の見通し等を記載した書類

添付資料（資料1～資料15）

- 資料1 松本短期大学の入学者と卒業生の状況
- 資料2 長野県人口予想
- 資料3 長野県の医療需要の予測
- 資料4 長野県内看護職有効求人倍率の推移
- 資料5 訪問看護ステーション数推移（全国）（長野県）
- 資料6 長野県における二次医療圏ごとの在宅医療実施状況
- 資料7 長野県における大学進学者の他県流出率
- 資料8 令和7年における看護職員需給予測（暫定値）
- 資料9 長野県内看護職就業状況
- 資料10 長野県の看護系大学納付金一覧
- 資料11 長野県の看護系大学入試関連データ
- 資料12 長野県の18歳人口動態
- 資料13 松本短期大学の入試関連データ
- 資料14 全国の介護福祉短期大学の入試関連データ
- 資料15 松本看護大学（仮称）の進学需要・人材需要に関する調査結果

【資料 1 : 松本短期大学の入学者と卒業生の状況】

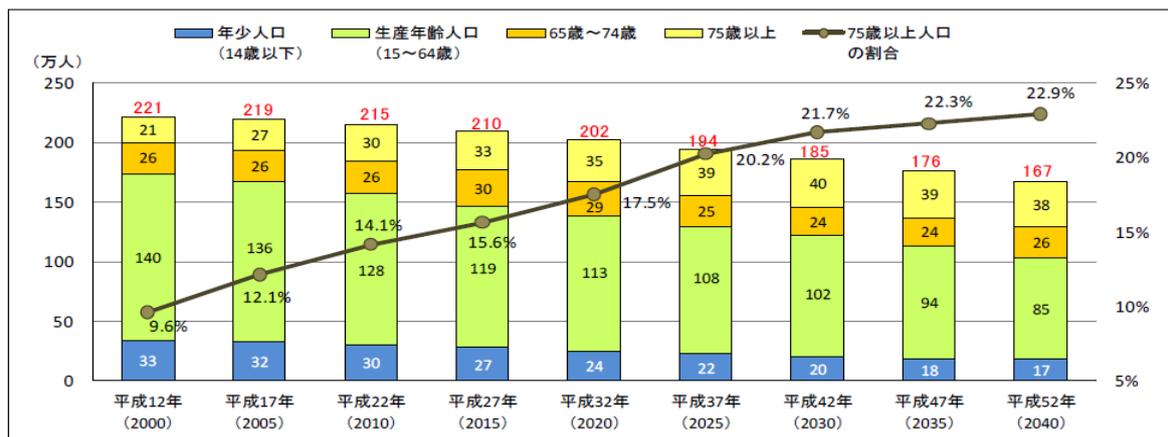
松本短期大学 看護学科	
入学者数	74
長野県内高校出身者	71
長野県外高校出身者	3
長野県比率	95.9%

松本短期大学 看護学科	
卒業者数	35
就職者数	
長野県内就職者数	29
長野県外就職者数	4
長野県内就職率	88%
進学者数	
長野県内進学者数	2
長野県外進学者数	0
長野県内就職率	100%

【資料2：長野県人口予想】

○長野県の人口は、2015年（平成27年）の210万人から、2040年（平成52年）には167万人へと減少していく一方、75歳以上人口の割合は年々増加し、2025年（平成37年）には20%を超えるなど今後とも高齢化が進展する見込みです。

図表 長野県の将来の人口・75歳以上人口の割合の推移



	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)
年少人口 (14歳以下)	334,306	316,368	295,742	269,752	242,286	217,705	196,359	183,320	174,499
生産年齢人口 (15~64歳)	1,404,575	1,356,317	1,281,683	1,186,865	1,131,042	1,076,998	1,017,763	943,775	852,964
65歳~74歳	263,042	256,335	264,938	298,778	292,224	251,219	235,642	241,944	259,059
75歳以上	212,085	265,649	304,363	327,307	353,270	391,701	401,360	391,866	381,893
75歳以上人口の割合	9.6%	12.1%	14.1%	15.6%	17.5%	20.2%	21.7%	22.3%	22.9%
総数	2,215,168	2,196,114	2,152,449	2,098,804	2,018,822	1,937,623	1,851,124	1,760,905	1,668,415

□ ピークの年

2000~2015年「国勢調査」(総数には年齢不詳者を含むため合計は一致しない)
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013.3月推計)」

※長野県地域医療構想より抜粋

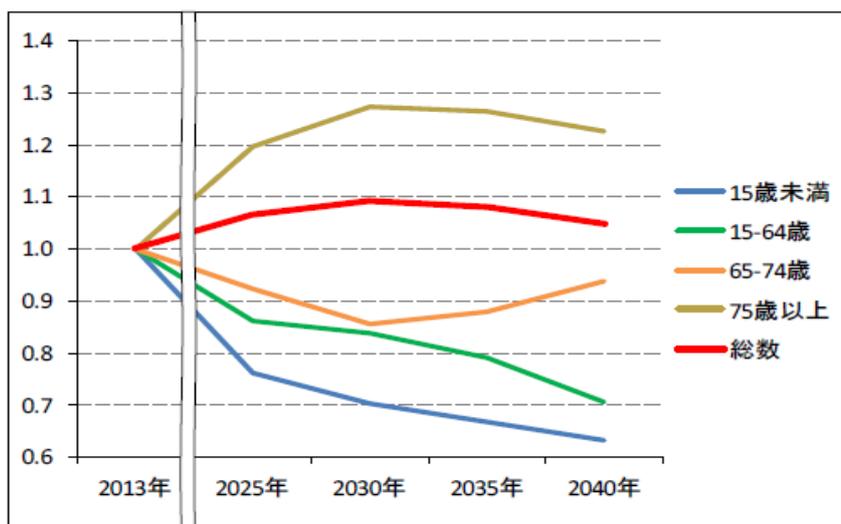
【資料3：長野県の医療需要の予測】

○2013年（平成25年）を1とした場合、入院患者の総数は、75歳以上の患者数の増加に連動して2030年（令和11年）頃にピークとなるが、65歳未満の入院患者数が減少傾向にあることから、増加の幅は2013年の1割増程度に留まる。

○75歳以上の入院患者数は2030年頃に2013年の約1.3倍まで増加した後、減少局面に入る。

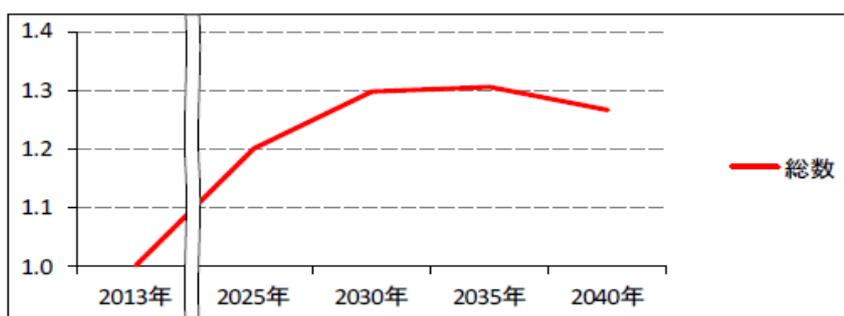
○在宅医療等の医療需要は、2013年を1とした場合、2030年から2035年頃に2013年の約1.3倍になった後、減少局面に入ると見込まれる

入院医療需要の変化率（2013年=1）



資料:「地域医療構想策定支援ツール」により作成

在宅医療等需要の変化率（2013年=1）



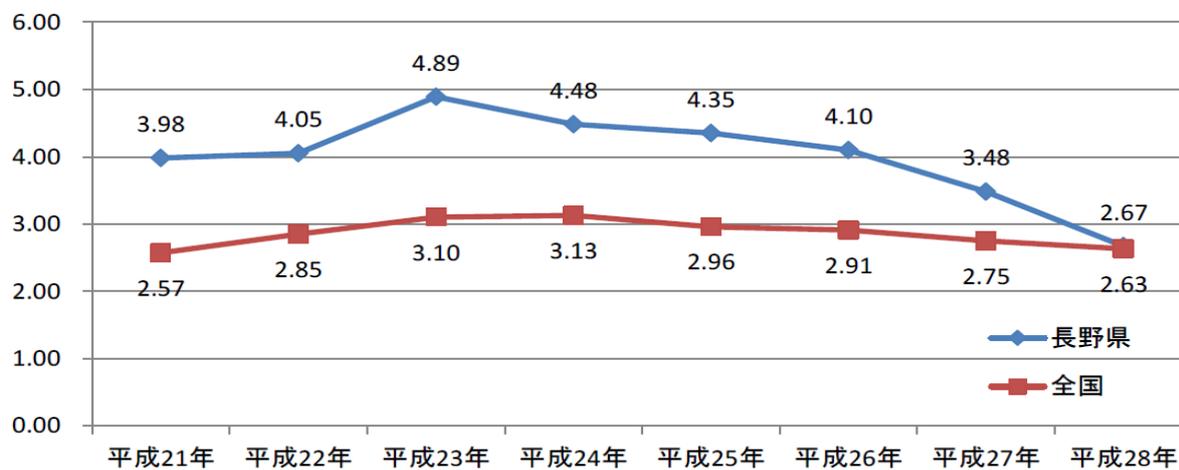
資料:「地域医療構想策定支援ツール」により作成

※長野県地域医療構想より抜粋

【資料4：長野県内看護職有効求人倍率の推移】

○平成18年（2006年）4月の診療報酬改定で手厚い看護体制に対する高い評価（7対1入院基本料）が新設されて以降、看護職員の需要は増えていました。平成24年以降は、病床機能の転換等もあり、長野県、全国ともに減少傾向となっていますが、依然確保が困難な状況が続いています。

保健師、助産師、看護師の有効求人倍率の推移



（注）調査月は10月。パートタイムを除く。

（厚生労働省「一般職業紹介状況」）

単位：倍

※第7次長野県保健医療計画（第3回保健医療計画策定ワーキンググループ会議資料）より抜粋

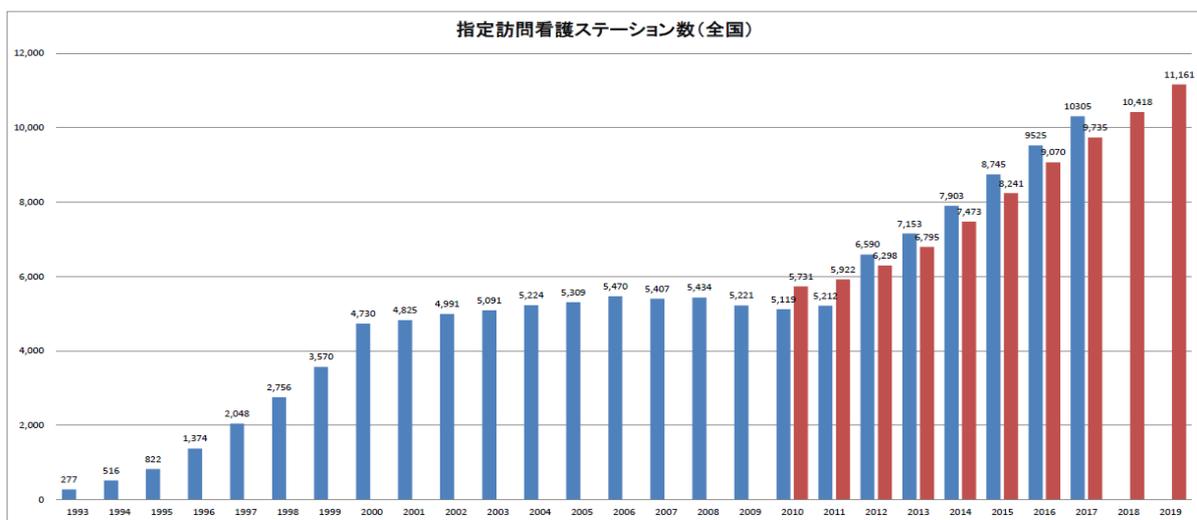
【資料5：訪問看護ステーション数推移（全国）（長野県）】

	長野県	全国
訪問看護ステーション数（稼働数）	172	11,161
訪問看護ステーション数（届け出数）	183	11,645
訪問看護ステーション数（休止数）	11	484
総人口（令和元年4月1日）	2,052,033	126,230,000
人口10万人あたりの訪問看護ステーション数	8.4	8.8

※訪問看護ステーション数は全国訪問看護事業協会資料より抜粋

※長野県総人口は長野県情報政策課統計室広報データより抜粋

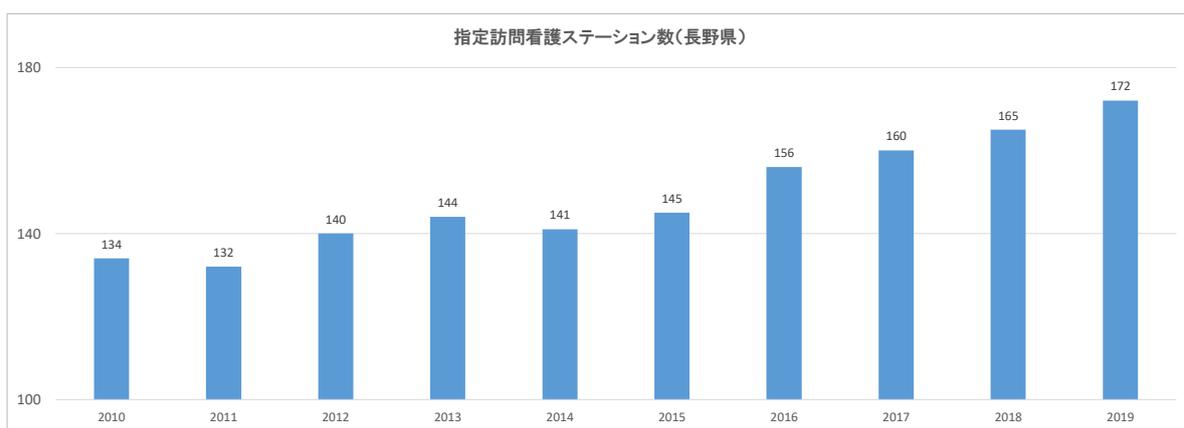
※全国総人口は総務省統計局公表データより抜粋



一般社団法人全国訪問看護事業協会 訪問看護ステーション数調査

青：1993年～1999年 訪問看護事業協会調査（厚生労働省統計情報部）
 赤：2000年～2017年 介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省統計情報部）
 2010年～2019年 訪問看護ステーション数調査（全国訪問看護事業協会）

※訪問看護ステーション数は全国訪問看護事業協会資料より抜粋



一般社団法人全国訪問看護事業協会 訪問看護ステーション数調査

※訪問看護ステーション数は全国訪問看護事業協会資料より

【資料6：長野県における二次医療圏ごとの在宅医療実施状況】

○2015年度（平成27年度）に県内の医療機関を対象に実施した在宅医療提供体制に関する調査によると、多くの医療圏で「訪問診療・往診のいずれか、または双方を実施している医療機関」が、「実施していない医療機関」よりも多くなっています。特に、木曾医療圏では全ての医療機関で在宅医療を実施しています。

○2014年（平成26年）10月現在の人口10万人当たりの一般病床・療養病床の合計数は、上小医療圏が最も多く上伊那医療圏が最も少なくなっています。

二次医療圏ごとの在宅医療（訪問診療・往診）実施状況

【病院】					【診療所】				
医療圏	医療機関数	訪問診療・往診のいずれか、または双方を実施している	実施していない	無回答	医療圏	医療機関数	訪問診療・往診のいずれか、または双方を実施している	実施していない	無回答
佐久	11	9 (81.8%)	2 (18.2%)		佐久	71	44 (62.0%)	27 (38.0%)	
上小	10	6 (60.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	上小	74	39 (52.7%)	33 (44.6%)	2 (2.7%)
諏訪	8	7 (87.5%)	1 (12.5%)		諏訪	77	47 (61.0%)	28 (36.4%)	2 (2.6%)
上伊那	6	3 (50.0%)	3 (50.0%)		上伊那	65	37 (56.9%)	27 (41.5%)	1 (1.5%)
飯伊	7	5 (71.4%)	2 (28.6%)		飯伊	73	56 (76.7%)	17 (23.3%)	
木曾	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)		木曾	7	7 (100.0%)	0 (0.0%)	
松本	18	11 (61.1%)	6 (33.3%)	1 (5.6%)	松本	212	139 (65.6%)	69 (32.5%)	4 (1.9%)
大北	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)		大北	28	23 (82.1%)	4 (14.3%)	1 (3.6%)
長野	26	15 (57.7%)	11 (42.3%)		長野	208	99 (47.6%)	105 (50.5%)	4 (1.9%)
北信	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)		北信	33	20 (60.6%)	13 (39.4%)	
合計	91	60 (65.9%)	29 (31.9%)	2 (2.2%)	合計	848	511 (60.3%)	323 (38.1%)	14 (1.7%)

出典：長野県在宅医療等提供体制調査分析業務報告書(2016.3)

一般病床数・療養病床数（2014年10月1日）

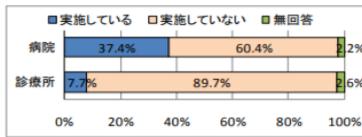
	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信	長野県計
人口	210,899	197,618	199,481	185,440	164,178	29,021	427,269	60,256	545,178	89,101	2,108,441
一般病床数	1,846	1,345	1,578	1,004	1,131	207	3,614	468	4,160	729	16,082
人口10万人当たり	875.3	680.6	791.1	541.4	688.9	713.3	845.8	776.7	763.1	818.2	762.7
療養病床数	456	909	335	318	481	48	530	72	1,061	55	4,265
人口10万人当たり	216.2	460.0	167.9	171.5	293.0	165.4	124.0	119.5	194.6	61.7	202.3

出典：人口……長野県毎月人口異動調査
病床数……長野県 病院・診療所名簿

医療機関による訪問看護の実施状況

回答した医療機関のうち、34病院（37.4%）、65診療所（7.7%）が訪問看護を実施しています。

	医療機関数	実施している	実施していない	無回答
病院	91	34	55	2
診療所	848	65	761	22
合計	939	99	816	24



出典：長野県在宅医療等提供体制調査分析業務報告書(2016.3)

※長野県地域医療構想より抜粋

【資料 7：長野県における大学進学者の他県流出率】

	大学進学者数	うち自県進学者数	自県残留率	他県流出者数	他県流出率
平成26年	9,251	1,429	15%	7,822	85%
平成27年	9,113	1,582	17%	7,531	83%
平成28年	9,194	1,568	17%	7,626	83%
平成29年	8,980	1,448	16%	7,532	84%
平成30年	9,216	1,577	17%	7,639	83%
令和元年（速報値）	9,113	1,672	18%	7,441	82%

※学校基本調査より作成

【資料8：令和7年における看護職員需給予測（暫定値）】

○2025年における需要推計に関しては、都道府県からの報告では180万人となった。これに、ワークライフバランスの充実を前提に看護職員の超過勤務時間や有給休暇の取得日数など勤務環境改善について、看護職員の労働環境の変化に対応して幅を持たせた3とおりのシナリオを設けて推計したところ、188万人～202万人となった。

○2025年における供給推計に関しては175～182万人程度と見込まれる。

○2025年における需給ギャップについては、ワークライフバランスの充実度合いに応じて、幅が見込まれる。

○今般の推計は、地域医療構想の実現を前提とした推計値であり、実現度合いにより、看護職員の必要数は変化する可能性がある。

○今般の推計は、地域医療構想の実現を前提とした全国共通の推計方法として画一的な算定であり、個々の都道府県の実情を綿密に反映できていないわけではないことに留意。

(実人員 単位：人)

	平成28年 ※1	令和7年（2025）年			
		都道府県報告値 （係数等処理前）	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③
需要推計	1,660,071	1,801,620	1,880,668	1,897,547	2,019,758
病院＋有床診療所	1,346,366	972,849	1,015,301	1,024,413	1,090,390
精神病床関連		132,052	137,904	139,142	148,103
（内訳）精神病床		93,387	97,526	98,401	104,739
精神病床からの基盤整備		38,664	40,378	40,741	43,364
無床診療所		299,224	312,395	315,199	335,499
訪問看護事業所	46,977	112,558	117,502	118,556	126,192
（内訳）医療保険	/	26,523	27,691	27,939	29,739
介護保険		47,370	49,433	49,877	53,089
精神病床からの基盤整備		38,664	40,378	40,741	43,364
介護保険サービス等	149,683	187,413	195,692	197,448	210,165
学校養成所等	117,045	136,188	142,253	143,529	152,773
供給推計	/	1,746,664	1,746,664 ～1,819,466	1,746,664 ～1,819,466	1,746,664 ～1,819,466

※数値は暫定値であり、精査中

【シナリオ設定条件】

	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③
超過勤務	10時間以内	10時間以内	0時間
有給休暇	5日以上	10日以上	20日以上

シナリオ1：就業中の全ての看護職員において、1ヶ月における超過勤務時間が10時間以内、1年あたりの有給取得5日以上が達成された場合

シナリオ2：就業中の全ての看護職員において、1ヶ月における超過勤務時間が10時間以内、1年あたりの有給取得10日以上が達成された場合

シナリオ3：就業中の全ての看護職員において、1ヶ月における超過勤務時間なし、1年あたりの有給取得20日以上が達成された場合

※医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会（中間とりまとめ案（概要）（令和元年））より抜粋

【資料9 長野県内看護職就業状況】

○平成28年（2016年）末現在の県内就業者数は29,018人です。人口10万人当たりの就業者数では、保健師、助産師、看護師で全国より高く、准看護師で下回っており、保健師数では全国1位、助産師数では全国2位に位置しています。

○県内の二次医療圏ごとの人口10万人当たりの就業者数は、看護師数(准看護師含む)では上伊那及び木曾で全国を下回っています。

○平成28年（2016年）末現在、本県の看護職員の主な就業場所として、病院が61.1%を占め、診療所が13.4%、介護保険施設が13.0%を占めています。

人口10万対の医療圏別就業者数（平成28年）

地域 職種	地域											
	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信	全県	全国
保健師	87.8	65.6	66.4	82.3	83.9	136.6	74.9	108.4	66.8	101.5	76.6	40.4
助産師	43.2	30.0	37.5	42.0	37.9	57.5	54.1	27.1	31.6	50.8	40.2	28.2
看護師	1,208.1	884.3	1,050.4	864.4	970.0	945.5	1,117.9	1,070.1	1,012.5	988.7	1,028.5	905.5
准看護師	187.0	384.4	254.0	257.8	343.8	169.0	221.6	208.3	206.2	229.6	244.4	254.6

単位：人

県内看護職員の就業状況（平成28年）

場所 職種	場所									合計
	病院	診療所	助産所	訪問看護 ステーション	介護保 険施設	社会福 祉施設	保健所 市町村	その他		
保健師	239	34	0	4	9	4	1,150	160	1,600	
助産師	579	136	56	0	0	6	24	38	839	
看護師	15,027	2,310	0	733	2,290	379	197	540	21,476	
准看護師	1,878	1,405	1	34	1,462	217	21	85	5,103	
合計	17,723	3,885	57	771	3,761	606	1,392	823	29,018	
(構成比)	61.1%	13.4%	0.2%	2.7%	13.0%	2.1%	4.8%	2.7%	100.0%	

単位：人

※第7次長野県保健医療計画（第3回保健医療計画策定ワーキンググループ会議資料）より抜粋

【資料10：長野県の看護系大学納付金一覧】

単位：円

	長野県立大学	信州大学	佐久大学	長野保健 医療大学	清泉女学院大学
入学金	423,000 (県外) 141,000 (県内)	282,000	230,000	200,000	350,000
授業料合計	535,800	535,800	1,500,000	1,520,000	1,500,000
授業料	535,800	535,800	900,000	900,000	900,000
施設整備費				100,000	500,000
実験実習費			100,000	420,000	100,000
教材図書費				100,000	0
教育充実費			500,000		
初年度合計	958,800(県外) 676,800(県内)	817,800	1,730,000	1,720,000	1,850,000

※各大学HPより抜粋（費用は全て看護学部）

【資料 1 1 : 長野県の看護系大学入試関連データ】

長野県立大学 看護学部 看護学科

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
志願者数	334	230	272	324
合格者数	88	89	86	85
入学者数	83	85	85	82
募集定員	80	80	80	80
志願倍率	4.2	2.9	3.4	4.1

単位：人

信州大学 医学部 保健学科 看護学専攻

	平成31年度	平成30年度	平成29年度
志願者数	282	246	383
合格者数	78	75	76
入学者数	70	70	70
募集定員	70	70	70
志願倍率	4.0	3.5	5.5

単位：人

佐久大学 看護学部 看護学科

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
志願者数	291	239	262	292
合格者数	157	167	156	152
入学者数	92	95	98	99
募集定員	90	90	90	90
志願倍率	3.2	2.7	2.9	3.2

単位：人

長野保健医療大学 看護学部 看護学科

	平成31年度
志願者数	167
合格者数	107
入学者数	85
募集定員	80
志願倍率	2.1

単位：人

清泉女学院大学 看護学部 看護学科

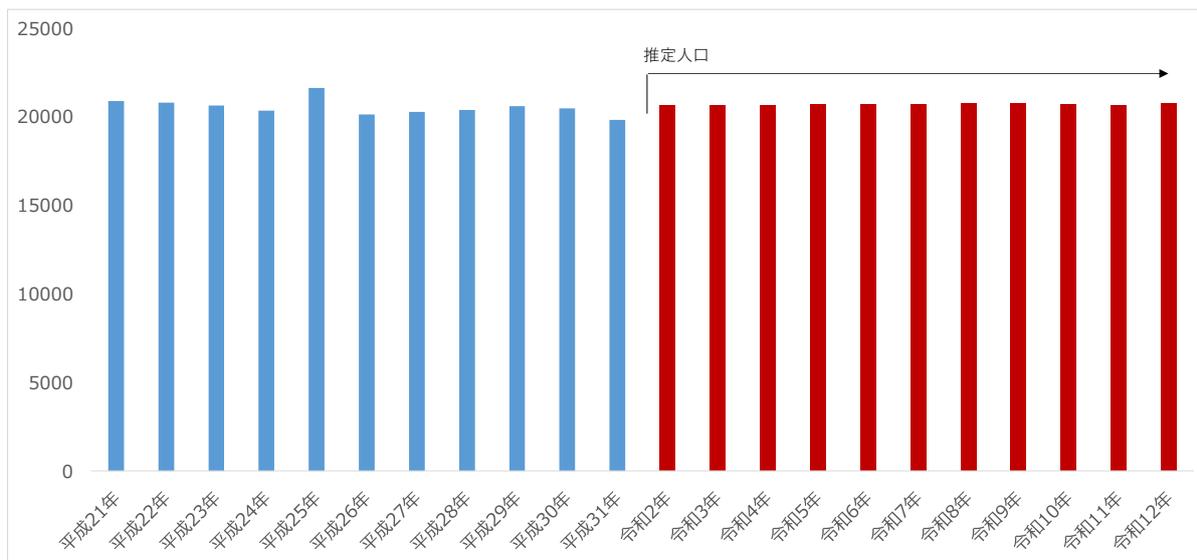
	平成31年度
志願者数	107
合格者数	83
入学者数	49
募集定員	76
志願倍率	1.4

単位：人

【資料12：長野県の18歳人口動態】

人口数	単位（総数、18歳人口）：人		
	総数	18歳人口	増減率
平成21年	2,163,795	20,890	-0.4%
平成22年	2,152,362	20,802	-0.8%
平成23年	2,143,394	20,639	-1.4%
平成24年	2,134,738	20,358	6.2%
平成25年	2,121,223	21,630	-7.0%
平成26年	2,109,542	20,125	0.8%
平成27年	2,097,632	20,281	0.5%
平成28年	2,089,354	20,377	1.1%
平成29年	2,077,466	20,609	-0.6%
平成30年	2,065,168	20,481	-3.2%
平成31年（令和元年）	2,052,033	19,819	4.1%
令和2年		20,632	0.0%
令和3年		20,626	0.0%
令和4年		20,616	0.5%
令和5年		20,713	-0.1%
令和6年		20,688	0.0%
令和7年		20,681	0.2%
令和8年		20,724	0.1%
令和9年		20,751	-0.2%
令和10年		20,717	-0.3%
令和11年		20,658	0.3%
令和12年		20,728	

推定人口



※長野県毎月人口異動調査より引用（4月時点のデータを活用）

※18歳人口の推計については基準人口のみを活用し、人口変動要因は活用していない

【資料 1 3 : 松本短期大学の入試関連データ】

松本短期大学 看護学科

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
志願者数	84	104	104	95	112
合格者数	76	84	83	69	81
入学者数	65	74	72	62	73
募集定員	70	70	70	70	70
志願倍率	1.2	1.5	1.5	1.4	1.6
入学定員充足率	0.9	1.1	1.0	0.9	1.0

松本短期大学 幼児保育学科

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
志願者数	125	126	103	128	142
合格者数	102	100	102	120	123
入学者数	100	100	98	100	102
募集定員	100	100	100	100	100
志願倍率	1.3	1.3	1.0	1.3	1.42
入学定員充足率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

松本短期大学 介護福祉学科

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
志願者数	31	42	42	38	49
合格者数	31	42	41	38	48
入学者数	31	40	40	37	45
募集定員	40	50	50	50	50
志願倍率	0.8	0.8	0.8	0.8	0.98
入学定員充足率	0.8	0.8	0.8	0.7	0.9

松本短期大学 オープンキャンパス参加者数

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
看護	85	108	142	139	79
幼児保育	306	308	263	236	253
介護福祉	51	55	56	58	43

※平成31年度は10月17日までの数値

松本短期大学 資料請求数・HPアクセスユーザー数

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
資料請求数	275	586	670	685	107
HPアクセスユーザー数	18,896	32,355	31,387	31,109	5,454

※平成31年度は10月17日までの数値

※平成27年度はHPリニューアルに伴い数値が例年対比低い

【資料14：全国の介護福祉短期大学の入試関連データ】

全国の短期大学 介護福祉学科 入試データ

	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
志願者数	243	205	124	134
入学者数	192	180	118	124
募集定員	333	270	255	255
志願倍率	0.7	0.8	0.5	0.5
入学定員充足率	58%	67%	46%	49%

※私学事業団資料より抜粋

学生の確保の見通しと学生確保に向けた取組を記載した書類

目 次

1. 新設学部を設置する大学等の現状把握・分析	2 頁
新学部等を設置するにあたって、大学等及び法人内部における現状や課題等に関する認識、及びそれに対する検討、分析	
2. 地域・社会的動向等の現状把握・分析	2 頁
新設学部等を設置するにあたって、地域や社会的動向等の法人外部における、現状や課題等に関する認識、及びそれに対する検討、分析	
3. 新設学部等の趣旨目的、教育内容、定員設定等	5 頁
上記 1. 2. の検討、分析を踏まえた新設学部等の趣旨目的、教育内容、定員設定等	
4. 学生確保の見通し	6 頁
1) 学生確保の見通しの調査結果	
2) 新設学部等の分野の動向	
3) 中長期的な 18 歳人口の地域的動向	
4) 競合校の動向	
5) 既設学部等の学生確保の状況	
6) 長野県内における看護系大学の進学先の状況	
7) 看護系大学志願者数	
8) 松本看護大学への期待度	
9) 資料請求者数、オープンキャンパス開催結果について	
10) 短期大学で定員が未充足であった原因	
11) 四年制大学となることによって生み出される特色	
12) 既設短期大学での実績	
13) 松本看護大学の優位性	
14) その他、申請者において検討・分析した事項	
5. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	17 頁
学生確保についての具体的な取組（予定を含む）	

I. 学生の確保の見通しと学生確保に向けた取組を記載した書類

1. 新設学部を設置する大学等の現状把握・分析

設置しようとする松本看護大学の母体となる松本短期大学は、昭和 47 年の設置認可から、一貫して地域に必要とされる人材の育成を行ってきた。昭和 47 年 4 月に開学した幼児教育学科（平成 16 年 4 月幼児保育学科へ学科名変更）は第 2 次ベビーブームの中、地域に産まれる子どもにより良い教育・保育の機会を提供するため、幼稚園と同時期に設置を行った。その後、高齢化社会という時代のニーズに応え、地域医療へ貢献することを目的に、平成 5 年に介護福祉学科、平成 18 年に看護学科を開設した。

また、松本短期大学の卒業生数は平成 31 年 3 月末時点で幼児保育学科では 3,910 名、介護福祉学科では 1,907 名、看護学科では 495 名となっている。卒業生のほとんどが地元の企業・医療機関・教育機関等に就職し、地域の保健医療福祉や保育のニーズに貢献しうる人材の育成に長年取り組んできた。その結果、地域貢献度も高く、地域からの信頼も厚い。特に看護学科においては平成 28 年度から平成 30 年度にかけて 124 名の卒業生を輩出し、そのうち 107 名（約 86%）が長野県内の医療機関等に就職している。また、入学者の傾向をみても平成 26 年度から平成 30 年度にかけて松本短期大学看護学科に入学した学生の 95.9%は長野県出身者であり、開学から一貫して地域に根差した教育を行ってきた結果であるといえる。（資料 1：松本短期大学の入学者と卒業生の状況）

本学は地域と共に発展し、地域に貢献することを目的としてきた。今後も地域のニーズを真摯にとらえつつ、地域を支え、発展できる人材の育成・輩出に取り組む。

2. 地域・社会的動向等の現状把握・分析

1) 長野県は高齢化が進み、在宅医療を中心とした医療需要は増加していく

長野県の総人口は平成 30 年 10 月 1 日時点で、約 206 万人であり、65 歳以上の高齢者人口は約 65 万人（高齢化率：31.5%）、75 歳以上の後期高齢者人口は約 35 万人（後期高齢化率：13.8%）である。今後は少子高齢化が進行していくと予想され、総人口は令和 21 年には 167 万人へと減少し、75 歳以上人口の割合は令和 7 年には 20%を超え、5 人に 1 人が 75 歳以上になると見込まれている。少子高齢化に伴い、長野県の医療需要は令和 11 年まで上昇を続け、平成 25 年と比較して 1.1 倍まで上昇した後に減少する見込みである。一方で在宅医療の医療需要は令和 11 年～令和 16 年ごろまで上昇し、平成 25 年と比較して 1.3 倍まで上昇した後に減少する見込みであり、今後はますます在宅医療の需要が高まり、在宅医療を担う看護職者が地域から求められている。（資料 2：長野県人口予想）（資料 3：長野県の医療需要の予測）

2) 長野県における看護師確保は依然として困難である

第 7 次長野県保健医療計画（平成 30 年）の「保健師、助産師、看護師の有効求人倍率」によると、平成 23 年における看護師の有効求人倍率は 4.89 倍（全国平均 3.1 倍）、平成 28 年には 2.67 倍（全国平均 2.63 倍）となった。回復傾向にあるが、依然として全国平均と比較して有効求人倍率は高く、長野県では看護師確保は困難な状況であり、看護師養成が地域

から求められている。(資料4：長野県内看護職有効求人倍率の推移)

3) 長野県では在宅医療の提供体制の整備が求められる

長野県における訪問看護ステーション数は平成29年3月時点で183カ所であり、人口10万人あたり8.4カ所設置されている。これは全国平均である8.8カ所を下回る水準である。また、平成27年に長野県の医療機関を対象に実施した在宅医療提供体制に関する調査によると、長野県全体で訪問看護を実施している医療機関は病院で37.4%、診療所で7.7%に留まっており、訪問看護師の養成と、在宅医療提供体制の整備とそれを担う看護職者の養成を進める必要がある。(資料5：訪問看護ステーション数推移)(資料6：長野県における二次医療圏ごとの在宅医療(訪問診療・往診)実施状況)

4) 長野県内の看護師養成施設の設置状況

長野県内の看護師養成施設は、平成30年度末時点で15校、入学定員は800人である。うち4年制大学は3校、入学定員は240人であり、3年制課程の短期大学は2校、入学定員は130人、専修学校は10校、入学定員は430人となっている。4年制の学士教育が必要とされる中、長野県における看護師の養成は、70%が専修学校を中心とした3年制課程での教育がなされている状況にある。

5) 長野県における保健師教育の必要性

長野県は平均寿命が長い一方で1人当たり医療費が低いという、健康長寿と医療費との高いバランスを実現してきた。こうした長野県の誇るべき特徴は「保健師と協働した一般市民の健康ボランティア」等の活躍が大きく、長年医療の現場だけでなく、生活の場における予防に踏み込んだ実践活動の結果である。しかし「健康ボランティアの減少」「地域のつながりの希薄化」等を背景に、これまで発揮してきた効果を維持していくことが困難であると「長野県健康長寿プロジェクト・研究事業報告書(平成27年)」では指摘されており、長野県の健康増進に寄与できる保健師の養成、予防の実践活動の強化を進める必要がある。

健康寿命に目を向けると「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究(平成28～30年度)」では平成22年長野県の健康寿命は71.17歳であり全国6位であったが、平成25年には71.45歳(全国18位)、平成28年には72.11歳(全国28位)となり、健康寿命は微増しているものの、全国順位を大きく落とす結果となっている。健康寿命増進の観点からも予防医療、健康増進等、地域保健活動等の中心を担う保健師の重要性が今後拡大していく。本学は地域保健医療の中心となり、長野県の健康増進に寄与できる保健師の育成を目指している。

6) 多様で複雑な在宅医療に対応するには4年間の看護教育が望ましい

急速に進む超高齢社会において、医療を支える人材の量的・質的確保は重要な課題であり、とりわけ在宅医療を支える看護師の育成が社会全体から強く求められている。在宅医療では病院以上に個別性が高く総合的な看護が必要である。更に在宅を担う看護師には1人で

判断・対応できる自立した能力が求められる。日本看護協会による「看護師基礎教育4年制化に関する資料」によると「複数の疾患・背景をもつ患者へ看護ができる力」「複雑な状況にある人を全人的に捉え、判断し、対応する基礎となる力」が必要であり、そのためには基礎教育の4年制化が必要であると記載されている。

7) 長野県の高等教育機関の現状

学校基本調査によると、長野県内に所在している高等学校の卒業者のうち、長野県外の大学へ進学した者の数は令和元年度では7,441名、大学進学者数9,113名のうち82%が長野県外の大学に進学している結果となった。これは全国の都道府県では41番目に低い数値である。また、平成27年度における長野県の大学収容力は37%であり、全国の都道府県では2番目に低い数値である。ここから、長野県内での大学教育における進学先不足の状況がうかがえる。本学の設置により、地域に進学できる学部学科が増え、これまで長野県外に進学せざるを得なかった学生の一部が、本学へ進学を希望する可能性は十分にあり、学生確保の見通しと共に、長野県内の高校生に教育の機会を提供することができる。(資料7：長野県における大学進学者の他県流出率)

8) 地域社会における人材需要の見通し

卒業後の具体的な進路や地域社会の人材需要の見通し等について、定量的に確認するため人材需要に関する基礎調査を実施した。調査対象は卒業生の就職が予想される長野県内の病院、診療所、訪問看護ステーション、介護施設とし、看護職員の充足状況や新設の看護学部の期待度、松本看護大学の卒業生に対する採用意向等のアンケート調査を実施した。

アンケートの結果、322施設から有効回答が得られ、そのうち35%にあたる114施設で必要な看護師を確保できていない結果となった。施設で不足している看護師数を合計すると335人の看護師が地域で不足しており、看護師の人材需要の高さが伺える。

また、「大学への期待度について、どの程度ご期待いただけますか。」という質問に対し、全体の86%にあたる276施設が「とても期待している」又は「ある程度、期待している」と回答し、松本看護大学(仮称)に対し何らかの期待をしている結果となった。また、松本看護大学(仮称)を卒業した人材への採用意向については回答件数256施設中、21%にあたる55施設が「ぜひ採用したい」と回答し、21%にあたる56施設が「採用したい」と回答した。「ぜひ採用したい」又は「採用したい」と回答した施設に対し、「採用可能と思われる人数をご記入ください」と質問した結果、323名の採用可能枠が確認された。以上の結果から、松本看護大学(仮称)で学んだ人材への需要は高く、卒業後の進路は十分に見込めるものといえる。(資料15：松本看護大学(仮称)の進学需要・人材需要に関する調査結果)

9) 地域における訪問看護師の需要

地域における訪問看護師数の人材需要について確認するため、人材需要に関する基礎調査結果から訪問看護ステーションのアンケート結果を抽出し、その人材需要について調査を実施した。アンケートから抽出した結果、訪問看護ステーション84施設中、41%にあ

る 34 施設で必要な看護師を確保できていない結果となった。これは全施設のアンケート結果である 34%よりも 7 ポイント高い。ここから訪問看護ステーションでの人材不足が深刻であることが伺える。また、全国訪問看護事業協会資料によると全国の訪問看護ステーション数は 2010 年に 5,731 件であったものが 2019 年には 11,161 件まで増加し、約 2 倍近く増加しており、長野県においても同様に訪問看護ステーションが増加すると共に訪問看護師の需要も増加していくことが予想される。

10) 松本看護大学が養成する人材需要の長期的な見通し

本学の養成する人材像の長期的な見通しについて確認するため、人材需要に関する基礎調査結果から訪問看護ステーションのアンケート結果を抽出し、その人材需要について調査を実施した。

アンケートから抽出した結果「大学への期待度について、どの程度ご期待いただけますか。」という質問に対し、訪問看護ステーション 84 施設中 85%にあたる 71 施設が「とても期待している」又は「ある程度、期待している」と回答し、松本看護大学（仮称）に対し何らかの期待をしている結果となった。また、松本看護大学（仮称）を卒業した人材への採用意向については回答件数 84 施設中、65%にあたる 55 施設が「ぜひ採用したい」「採用したい」「採用を検討してもよい」と回答し、回答した施設に対し、「採用可能と思われる人数をご記入ください」と質問した結果、53 名の採用可能枠が確認された。本学の在宅看護学の特色に該当する実習を受け、その専門性を深める学生は 25 名である点から、卒業後の進路は十分に見込めるものといえる。更に、「将来貴事業所における看護師さんの需要について、どのようにお考えになりますか」との質問に対し、訪問看護ステーション 84 施設中 56%にあたる 47 施設が「増加する」と回答した。これは全施設のアンケート結果である 39%よりも 17 ポイント高い。ここから、訪問看護ステーションでの人材需要は今後増加していくことが予想される。

【表 1：看護師の需要について】

	回答項目	全 体		訪問看護ステーション	
		件数	割合	件数	割合
1	増加する	124	39%	47	56%
2	増加しない	107	33%	9	11%
3	わからない	89	28%	28	33%
4	その他・無回答	2	1%	0	0%
合計		322		84	

3. 新設学部等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

1) 1. や 2. で分析した課題に対して本学が貢献すること

設置母体である松本短期大学は地域のニーズを捉え、長年人材育成を通じて地域に貢献してきた。そんな中、長野県では「①少子高齢化により在宅を中心とした医療ニーズが増加

していく」「②依然として看護師は不足しており、採用が困難である」「③今後は在宅医療の体制整備が求められている」「④在宅医療には多様な医療ニーズに応える必要があり、そのためには3年制より4年制の看護教育がふさわしい」「⑤保健師が今まで発揮してきた効果を維持していくことが困難となっており、改めて地域の健康増進のための取り組みが必要である」等の社会的変化が確認された。

以上から、松本学園は地域のニーズに応え、地域で求められる水準の資質・能力を有する看護職人材を育成するために、在宅看護学・公衆衛生看護学が学べる4年制看護大学を開学する。設置しようとする松本看護大学は母体となる松本短期大学の文化や教育的資源を継承し、地域の保健医療福祉を支え、発展できる医療職の育成・輩出を通じて地域に貢献することを目的とする。

2) 今、大学を設置しなければいけない理由

団塊の世代が75歳以上となる令和7年に向けて医療体制の整備が求められているが、全国の傾向では約6万人～27万人の看護師の不足が生じるとされている。また、長野県においても人口10万人あたりの看護師数は全国平均と比較して高いものの、地域偏在がみられ、特に松本医療圏に隣接する「上伊那医療圏」は人口10万人あたりの看護師数が長野県下で最も少ない864.4名となっている。これは全国平均905.5と比較しても低い水準である。更に、訪問看護ステーション数が全国と比較して少ない点、長野県で訪問看護を実施している医療機関が病院で37.4%、診療所で7.7%に留まっている点などから、令和7年までに医療体制の整備を行うには早急に質の高い看護師の育成と、在宅医療の整備が必要であるといえる。そのため本学の設置は長野県を中心とする地域医療の向上に貢献できると考えている。(資料6：長野県における二次医療圏ごとの在宅医療(訪問診療・往診)実施状況)(資料8：令和7年における看護職員需給予測(暫定値))(資料9：長野県内看護職就業状況)

3) 新設学部等の入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

学生納付金については①永続的な大学経営ができるよう財務的な視点を考慮すること、②大学本来の目的である教育・研究をより充実させ、学生への還元がなされるよう教育研究費には配慮できる金額設定であること、③競合性が高いと考えられる長野県内の私立看護学部の学生納付金を踏まえ、妥当といえる金額に設定すること。以上3つの観点をもって学生納付金の設定を行った。(資料10：長野県の看護系大学納付金一覧)

4. 学生確保の見通し

1) 学生確保の見通しの調査結果

学生確保の見通しを定量的に確認することを目的として、開学時に学生募集の対象となる長野県内の高校2年生に進学意向調査を実施した。アンケートを依頼した高校は主として本学の位置する中信地区の39校の高校であり、5,279枚アンケートを配布した結果、37

校の高校から合計 3,852 枚の有効回答が確認された（回収率 73%）。なお、高校 2 年生向けにアンケートを回答していただくよう依頼をしたが、信憑性を高めるためにアンケート内にも学年を問う内容を加え、確実に高校 2 年生向けの結果となるよう集計を行った。また、169 名の受験希望者に対して 180 名の進学希望者があった理由は進学希望者 180 名の回答者には受験希望者 169 名だけでなく、受験検討者 492 名、合計 661 名が含まれるためである。

その結果、3,852 人から有効回答が得られた。有効回答数 3852 人中、松本看護大学に「ぜひ受験したい」又は「一応受験したい」と回答した者は 169 人となった。また、「受験先の候補の一つとして考える」との回答を含めると 661 人が松本看護大学への進学を希望した。また、「ぜひ受験したい」「一応受験したい」「受験先の候補の一つとして考える」と回答した 661 人のうち、「入学を希望する」と回答した者は 79 人、「一応入学を考える」と回答した者は 101 人、「候補の一つ」と回答した者は 397 人となり、合計すると 577 人の進学検討者が確認された。これは松本看護大学への受験を検討している 661 人のうち約 87%にあたる 577 人が入学を検討している結果となった。

松本看護大学の入学定員 70 人に対して「入学を希望する」のみで入学定員以上（入学定員の 1.13 倍）の学生確保の見通しが得られた。また、「入学を希望する」に「一応入学を考える」「候補の一つ」を加えると入学希望者は 577 人となり、入学定員の 8.2 倍に該当する回答者が、松本看護大学に対して何らかの進学希望を持っている結果となった。以上の結果から、長野県内の高校 2 年生から松本看護大学への受験希望が得られ、学生確保においては十分な見通しがあるといえる。（資料 1 5：松本看護大学（仮称）の進学需要・人材需要に関する調査結果）

2) 新設学部等の分野の動向

長野県における看護学系学部学科への志願倍率の平均は、平成 30 年度が 3.2 倍、平成 29 年度が 3.1 倍となっており、定員充足率も平均 101 %となっている。これは、長野県における看護学科に対する進学希望者が多数存在している状況を表しており、安定した志願者数の確保と高い志願倍率、定員充足の状況から、本学においても十分な学生の確保の見通しがあるものとする。（資料 1 1：長野県の看護系大学入試関連データ）

3) 中長期的な 18 歳人口の地域的動向

長野県毎月人口異動調査によると、平成 31 年 4 月時点の長野県の 18 歳人口は 19,819 人であった。また、平成 21 年 4 月時点の長野県の 18 歳人口は 20,890 人であった。10 年間の平均的な減少率は -0.6% 程度であることから、長期的に 18 歳人口は減少していくが、その速度はゆるやかであるといえる。また、対象学年を基準人口とし、人口変動等を考慮しない簡易的な人口予想では令和 12 年には長野県の 18 歳人口は 20,728 人であると予想され、平均的な増減率も 0.5% 程度プラスとなる見通しである。以上から、長野県内の 18 歳人口が大きく減少することはなく、中長期的な確保の見通しがあるものと思われる。（資料 1 2：長野県の 18 歳人口動態）

4) 競合校の状況

松本看護大学の母体である松本短期大学看護学科の学生の98%が長野県内からの学生であることから、長野県の看護師を養成する大学を競合校とし、その状況を調査した。調査の結果、長野県に5校ある全ての大学において志願者が募集定員を上回る状況であり、入学定員に対する入学者の割合も1大学を除くほぼ全ての大学で充足する結果であった。なお、入学者数が入学定員を唯一下回った清泉女学院大学看護学科については、平成31年10月に認可され、募集活動が他大学よりも遅くなったことが大きな要因と考えられる。(資料11：長野県の看護系大学入試関連データ)

5) 既設学部等の学生確保の状況

本学の過去5年間の志願倍率は看護学科、幼児保育学科は共に1.00倍を超えており、介護福祉学科に関しては0.8倍程度を維持している。母体となる短期大学から定員数を維持する点、学生の大学志向が上昇している点から、大学においても問題なく定員は充足できるものと考えている。(資料13：松本短期大学入試関連データ)

6) 長野県内における看護系大学の進学先の状況

長野県では看護系大学の進学先が不足しており、今まで長野県外に進学せざるを得なかった高校生が本学へ進学する可能性がある

長野県の大学収容率は約40% (平成27年度37%) であり、全国の都道府県の中では2番目に低い数値となっている。また、平成31年度、長野県内に所在している高等学校の卒業生で大学進学者は9,113名であったが、うち長野県内の大学へ進学した者は1,672名と18%程度であり、82%の大学進学者は県外の大学に進学している。全国的にも長野県の県内大学進学率は低く、全国の都道府県の中で41番目である。ここから、長野県内での大学教育における進学先不足の状況がうかがえる。

こうした状況は看護系の大学においても同様であり、平成28年度における都道府県別の18歳人口1,000名あたりの看護系大学入学定員数は全国平均が18人であるのに対し、長野県では11人と全国と比較して看護系大学の入学定員が少ない状況にあり、長野県内での看護系大学の進学先不足の状況がうかがえる。また本学が独自に行ったアンケート調査によると大学に進学を希望する1,953人中、看護系大学に進学を希望する学生(看護系大学が第一志望或いは第二志望である学生)は261人であり、261人中、本学に受験を検討する学生(「ぜひ受験したい」「一応受験したい」「受験先の候補の一つとして考える」と回答した学生)は186人であった。約71%の学生が地元の長野県にある本学への受験を検討していることから、学生の地元志向の強さがうかがえる。一方で、長野県の県内進学率は18%に留まっている点、中信地区には看護系大学が信州大学しかなく、その入学定員が70名であり、全国からも学生が集まっている点からアンケートを配布した中信地区にはこれまで長野県外に進学せざるを得なかった看護系大学を希望する高等学校卒業生が相当数いることが分かる。こうした学生の一部が本学へ進学する可能性は十分にあるといえる。また、長野県内

の看護系大学の入学定員が 396 人であるのに対して日本私立学校振興・共済事業団の資料によると志願者が 1103 名いる点からも長野県では看護系大学の進学先が不足していることが伺える。以上から、本学が開学することで地元の看護系大学に進学を希望する学生へ教育の機会を提供すると共に、本学への入学の見込みは高いと判断した。

7) 看護系大学志願者数

全国・長野県共に看護系の大学志願者数が上昇しており、看護系大学である松本看護大学にも学生が集まる可能性が高い。

日本私立学校振興・共済事業団の資料によると私立大学全体の看護師養成校への志願者数は平成 23 年から平成 30 年にかけて 28,387 人から 56,612 人となり、約 2 倍まで増加している。一方で、短期大学全体では 5,834 人から 2,394 人となり、大幅な減少が確認されている。また、厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」の資料によると専門学校全体の看護師養成校への志願者数は平成 23 年から平成 30 年にかけて 114,181 人から 76,935 人と短期大学よりゆるやかではあるが減少傾向にある。以上から、全国的に看護師養成校に進学を希望する高校生の大学志向が増加しているといえる。また、厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」によると平成 19 年度から令和元年度にかけて長野県における看護系大学の志願者数は 588 名から 1103 名まで上昇している点からも、長野県においても看護系大学に進学を希望する高校生の数が増加しているといえる。

こうした大学志向の増加は社会構造の変化に伴って発生していると考えられる。看護職者に求められる能力が多様化し、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が策定された平成 4 年から平成 31 年度にかけて看護系大学の数は 14 校から 272 校まで増加し、入学定員数は平成 31 年度では 24,525 名となった。このような、社会の変化に伴い学生の意識が変化したことが原因であると考えられる。医療が多様化・高度化しているなか、こうした傾向はむしろ加速していくことから、学生の大学志向は長期的に持続するものと考えられる。

また、本学の位置する長野県、特に中信地区の傾向として本学が独自に実施したアンケート調査によると、長野県内の 322 の事業所中 39%にあたる 124 施設が「看護師の人材需要は増加する」と回答しており、特に訪問看護ステーションに限定すると 84 施設中 56%にあたる 47 施設が「看護師の人材需要は増加する」と回答した点からも地域においても、特に在宅に関する看護師の人材需要が伸び、それに伴い高校生の意識も大学志向・在宅志向へと変化していくと予想される。こうした結果から、在宅医療の必要性が増加していくことを考えると、在宅を特色とする本学へ入学を志望する学生もまた、増加していくことを期待している。

8) 松本看護大学への期待度

このように全国的及び長野県内において大学志向が強くなっている現状において、松本看護大学への志願者がどの程度期待できるか、追加の調査を実施した。

調査の対象としたのは、大学への進学を主体とし、松本看護大学への通学可能な進学校を

中心に 33 校を抽出し、進路指導担当教諭に対しヒアリング調査を実施した。これらの高校はこれまで大学進学者が多いため、松本短期大学看護学科への入学者は少ないものの、松本看護大学の開設により新たに入学生が見込まれる高校である。調査期間は令和 2 年 6 月 4 日から 6 月 26 日までの約 1 ヶ月間である。

①ヒアリング内容

- a. 高校 3 年生の学生数
- b. 高校 3 年生のうち看護師を志望する学生数
- c. 高校 3 年生のうち四年制看護系大学を志望する学生数
- d. 高校 3 年生のうち松本看護大学への受験希望者数
- e. 学生から見た松本看護大学の印象

上記の 5 点とした。

②ヒアリング結果

(1) ヒアリング項目 a～d

ヒアリング項目 a～d の結果については、下記の「表 1. a～d のヒアリング結果」に示す通りである。訪問した 33 の高校に在籍する高校 3 年生は 7,896 名であった。高校 3 年生のうち、看護師を志望する学生は 592 名となり、高校 3 年生全体の 7%程度となった。また、看護師を志望する学生の中で特に四年制看護系大学を第一志望としている学生は 431 名であり、看護師志望の学生の 73%が看護系大学を目指している結果となった。長野県における看護師の養成校の入学定員は、約 60%が短期大学又は専門学校を中心とした三年制課程で占められている状況を鑑みると、学生の志向性と養成校の現状に乖離があると考えられる。つまり、長野県には四年制の看護系大学が不足しており、三年制の短期大学より四年制の看護系大学の方が高校生の志向性に合っていると見える。

また、ヒアリング対象校の中で本学看護学部への受験希望者数は 101 名であり、看護師を志望する学生に対する割合は約 23.4%となった。本結果は、令和元年 6 月 1 日～6 月 31 日の間に本学が独自で 3,852 人の高校生に行ったアンケート結果で、看護師を第一志望とする学生のうち、本学看護学部への受験を希望する学生（「ぜひ受験したい」または「受験をしたい」と回答した学生）が約 21.6%であった結果とほぼ整合しており、ヒアリング結果、アンケート結果共に信憑性は高いと判断できる。

表 1. a～d のヒアリング結果

項目	結果 (人)
a. 高校 3 年生の学生数	7,896
b. 高校 3 年生のうち看護師を志望する学生数	592
c. 高校 3 年生のうち四年制看護系大学を志望する学生数	431

d. 高校3年生のうち松本看護大学への受験希望者数	101
---------------------------	-----

(2) ヒアリング項目 e

ヒアリング項目 e の結果については下記の通りである。

- ・長野県では看護系大学の進学先が不足している認識がある。特に進学校を中心に、国公立である信州大学、長野県立看護大学を志望する学生が多いが、これらの大学は全国から学生が集まるため、長野県内の学生にとって狭き門となっている。松本市に私立の看護大学ができることは学生にとっては朗報である。
- ・学生が看護大学を選ぶ際、取得できる資格が大きなポイントとなる。松本看護大学は看護師と保健師の資格取得が可能であり、学生の志向に合致している。
- ・松本看護大学の特徴である4年次の応用看護領域は地域のニーズを取り入れ設定されており、いずれも大切に説得力のある設定となっている。特に、今後さらに大切となる在宅看護に対して、重点的に取り組んでいるのは、本学のみであり、この点進路指導の先生より高く評価されている。学生は専門分野を持つことに興味があり、この応用看護領域を選択することを契機に将来さらに専門性を深め、地域で活躍する人材になることに興味を示している。
- ・長野県は山岳地帯にあるため、災害看護は学生もイメージしやすい。
- ・いままさに問題となっている新型コロナウイルスに関して、保健師、看護師の役割はさらに重要なものとなっている。この職業に関して感染の危険性はあるものの、社会貢献度の高さは学生にとって魅力のあるものとなっている。進路指導担当教諭からの情報では、昨年に比べ看護師志望者が増加しているとのことである。

③ヒアリング結果より見出された結論

ヒアリングの結果より、下記(1)～(4)の4点の結論を見出した。

- (1) 看護師志望の学生の73%が看護系の四年制大学を志望しているが、長野県の看護師養成校の定員は約60%が短期大学・専門学校であることを鑑みると、学生の志向性と養成校の現状に乖離があり、長野県の看護系四年制大学の進学先が不足している。
- (2) 看護師志望の学生の73%が看護系大学を志望している点から、三年制の短期大学より四年制の看護系大学の方が高校生の志向性にあっている。
- (3) これまで松本短期大学への志願者が少なかった33校に対するアンケート結果では、入学定員の70名を超える101名の受験希望者が確認されており、学生確保の見通しは高いといえる。
- (4) 本学が掲げている応用看護領域すなわち、在宅看護、救急・災害看護、公衆衛生看護(保健師教育)など、四年制大学となることによって生み出される本学の特色は、専門性を志向する高校生のニーズと合致した。

9) 資料請求者数、説明会の開催結果について

前述したアンケート結果、及びヒアリング結果を裏付けるために、現時点での松本看護大学への高校生の期待度を資料請求数及びオープンキャンパスでの参加者数、参加しての感想等より考察した。

①資料請求者数（令和2年8月8日現在）

松本看護大学の特色（案）をホームページ、高校訪問、テレビコマーシャル、進学サイト等で紹介した結果、松本看護大学に関する資料請求者数は、8月8日現在で549件となり、松本看護大学に関する関心の高さが伺える。

下表2は昨年同期の松本短期大学看護学科との資料請求者数の比較である。

表2. 資料請求者数（前年同期比較）

令和元年4月1日～8月31日	令和2年4月1日～8月8日
58件	549件

②松本看護大学紹介オープンキャンパスの開催結果

(1) 実施状況

新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮した結果、松本看護大学の紹介オープンキャンパスは7月12日（日）より開始し、8月2日（日）、8月23日（日）の3回を開催している。今後は、随時開催していく予定である

(2) 参加者の状況

参加者数は7月12日（日）に関しては、準備期間が短く広報が十分行き届いていなかった面があり、オンライン参加者11名を含め58名、8月2日（日）がオンライン参加者18名を含め96名と、参加者は増加した。

下表3は、昨年同期の松本短期大学看護学科とのオープンキャンパス参加者数の比較である。

表3. オープンキャンパス参加者数（前年同期比較）

令和元年		令和2年	
開催日	参加者数（人）	開催日	参加者数（人）
6月22日	26	7月12日	58
7月20日	36	8月2日	96
8月9日	53	8月23日	93
合計	115	合計	247

(3) 参加者アンケート結果

下表4～7は、令和2年7月12日及び8月2日における参加者に対して行ったアンケート結果である。

対象者：オンライン参加者を除く 123 名

有効回答者数：113 名

表 4. 松本看護大学の紹介オープンキャンパスを何で知りましたか。(複数回答可)

回答項目	回答数	割合 (%)
松本看護大学 (松本短期大学) ホームページ	61	54.0
進学情報サイト	34	30.1
県内高等学校宛松本看護大学オープンキャンパス案内	25	22.1
進路指導の先生	16	14.2
その他	17	15.0

表 5. 今回の学校紹介では、どういったことが知りたくて参加しましたか。(複数回答可)

回答項目	回答数	割合 (%)
入学試験のこと	80	70.8
学部の概要	76	67.3
学生生活のこと	56	49.6
取得できる資格のこと	47	41.6
卒業後の予想される就職先のこと	41	36.3
奨学金のこと	41	36.3
国家試験対策のこと	25	22.1
教員の様子	21	18.6
通学のこと	19	16.8
その他	4	3.5

表 6. オープンキャンパスでよかったことや心に残ったことは何でしたか。(複数回答可)

回答項目	回答数	割合 (%)
学部の概要説明	81	71.7
学生生活の概要説明	59	52.2
教職員の対応や雰囲気	47	41.6
その他	48	42.5

表 7. 参加者の感想 (自由記述)

感想の内容
・ 応用選択科目が充実しており是非学びたい。
・ 概要説明を聞くことができ、興味も深まりました。
・ 学部の概要に関して詳しく知ることができ、良かった。
・ 教職員の対応、雰囲気がとても良かった。機会があれば短大の在校生の話が聞きたい。

・教職員のみなさんがとても優しく丁寧に対応してくださり、嬉しかった。
・説明が丁寧で、わかりやすかった。
・入学したい気持ちが強くなった。
・入学試験について知りたかったが、承認後に募集要項を自宅に送ってもらえるとのことで、納得した。
・地域に密着した看護の勉強ができるのが良いと思った。
・学べる内容や実習について知りたかった情報を聞くことができた。
・カリキュラムから就職・奨学金に関して説明があり、とても参考になった。

このようにオープンキャンパスでのアンケート結果からも、前述した進路指導担当教諭からのヒアリング結果と同様な反応があり、松本看護大学が考えている在宅看護や災害看護などの四年制大学となることによって生み出される特色は、高校生にとって魅力のある特色の一つとして捉えられており、この特色を更に具体的に広報していくことで、継続的に学生を確保していく。

10) 短期大学で定員が未充足であった原因

平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間の松本短期大学看護学科の平均入学定員充足率は 98.5% であり、入学定員未充足となったのは、平成 28 年度と平成 31 年度の 2 年である。開学 14 年間の平均入学定員充足率は 101% である。

こうした中、短期大学において未充足となった理由は、高校生の四年制大学志向の増加が主たる原因であると考えられるが、更に、松本短期大学の魅力が伝わりきらなかった点も理由として考えられる。短期大学の三年制の教育課程では、保健師助産師看護師学校養成所指定規則によって定められた教育課程が主幹であり、松本短期大学看護学科にしかない魅力や特色が伝わりにくく、他校との違いが判別しにくかったと考えられる。一方で、松本看護大学として四年制となることで、在宅看護、救急・災害看護、公衆衛生看護などの特色が生み出されるため、広報活動ではこうした特色を重点的に伝えていく。

11) 四年制大学となることによって生み出される特色

三年制の松本短期大学から四年制の松本看護大学となることで生み出される特色として、下記の 2 点を中心に高校生への説明を行う。

- ① 「智の連携創造科目」として位置づけた「連携ゼミナールⅠ」、「連携ゼミナールⅡ」や「研究方法論」などの科目では、現短期大学で十分な教育ができなかった文献検討、研究計画の作成と検証といった研究的視点を育むプロセスを経験することができる。
- ② 「救急看護学」「災害看護学」「在宅看護学」「公衆衛生看護学」等の「看護の応用と発

展科目」を新しく配置し、地域の特性にあったより深い学びを提供できる。

松本看護大学のオープンキャンパス等で、こうした特色について高校生に今後も説明していく。

7月及び8月に開催したオープンキャンパスで説明を行い、回収したアンケートで「オープンキャンパスでよかったことや心に残ったことは何でしたか。」との質問に対する回答の結果（上記 表6）、高校生の71.7%にあたる81名が「学部の概要説明」と回答したことから、本学が四年制大学となることによって生み出される特色は学生から高い評価を得ていると判断できる。

12) 既設短期大学での実績

松本看護大学の母体となる松本短期大学は設立以来地域に根差した教育を実施しており、看護学科開学14年間の平均入学定員充足率は101%となっている。看護師国家資格合格率も100%を2ヵ年連続で達成し、地域からの信頼も厚い。こうした実績は、松本短期大学の教育に対する姿勢にあると考えられる。松本短期大学は「信濃の国の教育風土に培われた教育への良心と見識」をもって学生教育を行っており、学生たちを「型にはめる」のではなく、学生たちに寄り添い「個性を尊重して、もてる可能性を引き出す」という教育観を共有し、その実現に取り組んできた。このような教育の姿勢は松本短期大学の初代理事長であり、教育者である上条憲太郎が信濃教育から継承した考え方である。

松本看護大学は松本短期大学の開学以来、受け継いできた信濃教育の考えを継承し、発展させていく。

13) 松本看護大学の優位性

松本看護大学は教育の特色、立地、初年度学費の観点で競合となる他の看護系大学に対して優位性がある。

松本看護大学は中信地区では唯一の私立看護系大学であり、地域に根差した教育を特色とする大学となり、長野県の学生に教育の機会を提供するものである。こうした教育の特色や中信地区に私立看護系大学がない状況から、中信地区を中心とした高校生に対して高い優位性があり、松本看護大学の魅力・特色を伝えることで十分に定員充足できる学生が得られると判断した。また、長野県内の私立看護系大学のなかで最も初年度学費を安価に抑えている点からも優位性があるといえる。以下に松本看護大学が設置される松本市及び大学の魅力について詳細を記載する。

①松本市の魅力

松本市は、長野県の中心に位置し、北アルプス連峰と美ヶ原高原の豊かな恵みと美しい自

然環境、松本城を中心とした城下町として栄えた歴史・伝統文化に育まれてきた。歴史的建造物が多くあり、文化の香りが高く、自然あふれる環境である。また、山岳地帯にあることからスキーやスノーボード等の余暇に興じることもできる。さらに、松本市は、三つの「ガク都」（「岳都」「楽都」「学都」）としても発展している。北アルプスなどの山岳観光都市の「岳都」、セイジ・オザワ松本フェスティバルに代表される「楽都」、そして、日本で最も古い小学校の一つとされる旧開智学校の開校や旧制松本高等学校の誘致など、教育を重んずる文化芸術の息づく「学都」である。松本市では、この「ガク都松本」の実現に向けてさまざまな事業に取り組んでいる。こうした環境は教育研究する場所としてはふさわしく、魅力を感じる学生も一定層いることが予想される。

また、長野県の中心に位置し、交通の便が良いことから、学生が通学できる範囲が広いことも魅力の一つと言える。

②本学独自の魅力

本学は松本短期大学看護学科を母体として開学するため、長年看護教育を提供してきた実績がある。また、前述したとおり、短期大学での看護師国家資格合格率は100%であり、その実績を踏まえた募集活動を行う。また、本学では在宅看護学に関する科目を8科目11単位配置しているが、長野県の看護系大学では在宅看護学に関する科目は6単位程度に留まるケースが多く、今後さらに重要性が増す、在宅看護学に興味を示す学生にとって魅力度は高いといえる。

また、短期大学には介護福祉学科、幼児保育学科を有している。今後、看護職者と介護福祉士の連携の重要性が高まる中、同じキャンパス内で介護福祉学科の学生と看護学科の学生が学び、交流することの教育的意義は高い。更に、看護学科の教員には介護に関する教育研究経験を有する教員が配置されており、興味のある学生にとっては介護に関する学びを深める機会がある。更に、松本学園には付属の幼稚園と短期大学には幼児保育学科が設置されており、幼児保育学科の学生との交流を通して、小児看護学を学ぶ上で、看護学とは違った観点で小児への学びを深めることのできる教育的意義は高い。介護福祉学科と同様に幼児保育のキャリアを有した教員も採用しており、学生は多様なバックグラウンドをもつ教員の下で学生が学ぶことができる。また、本学は少人数のグループ学習を基本とする「智の創造関連科目」を配置している。多様なバックグラウンドをもつ教員指導のもと、学生は主体的に課題を発見し、解決を図るプロセスにおいて、多様な視点を吸収しながら課題探求力・問題解決力・自己研鑽力・基礎的研究能力を向上させることができる。こうした環境下において本学を魅力に感じる学生は一定数おり、こうした学生に対して本学は優位性が高いといえる。

14) その他、申請者において検討・分析した事項

私学事業団の報告によると、全国の短期大学における介護福祉学科の志願倍率は回復傾向にあるものの、0.5倍～0.8倍程度となっており、入学定員に対する定員充足率も60%前後を維持している。こうした中で、松本短期大学介護福祉学科が志願倍率0.8～1.0倍程度

を維持し、入学定員に対する定員充足率も 80%前後を維持している点は地域に貢献する大学の姿勢の結果であるといえる。(資料 1 4 : 全国の介護福祉短期大学の入試関連データ)

5. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

1) 短期大学と四年制大学の人材需要の違いを踏まえた具体的な広報活動

短期大学と四年制大学の教育内容の違いを踏まえると、短期大学では「実践者の育成」を掲げている点や 3 年で看護師資格が取得できる点から早期に就職し看護を实践する点に価値を感じる学生が主体であったと想定される。一方で、四年制大学では看護師免許の取得と共に深く専門性を学ぶことに価値を感じる学生に志願者が変化することが想定される。こうした学生層の変化を踏まえ、下記に記載の根拠により十分に学生確保の見通しがあると判断した。

(1) 地域の現状や社会構造の変化について

社会的な人材需要とその背景にある地域社会の状況について学生に分かりやすく伝える。特に①長野県では少子高齢化により医療ニーズ、特に在宅医療のニーズが今後 10~15 年近く増加し続けるが、長野県全体で訪問看護を実施している医療機関は病院で 37.4%、診療所で 7.7%に留まっており、今後在宅を担う人材が求められている点、②長野県の看護師有効求人倍率は平成 28 年には 2.67 倍(全国平均 2.63 倍)となっており、更にアンケート結果では 328 人の看護師が地域で不足しており、看護師は依然として社会から求められている点③日本は世界有数の自然災害大国と言われており、特に長野県では山岳事故に対応できる看護師が地域社会から求められている点④長野県は全国トップレベルの平均長寿を維持し続けてきたが、健康長寿を支えてきた保健師が高齢化で維持が難しくなり保健センターで保健師が求められている点、について学生に分かりやすく伝える。更に、こうした地域の現状に加え看護協会が看護教育の四年制化を推奨している点や看護職者が高学歴化している点等全国的に 4 年制教育が求められている点についても学生に伝える。

2) 松本看護大学で学べること、なれる看護師・保健師像について

前述した地域や社会構造の現状に加え、松本看護大学で学べること、なれる看護師・保健師像について分かりやすく伝える。松本看護大学はその母体となる松本短期大学の設立以来地域に根差した教育を実施しており、こうした文化的背景をもって開学し、地域で求められる水準の資質・能力を有する看護職人材を育成することを目的としている点。地域に必要とされている在宅看護学・公衆衛生看護学や救急・災害看護学が学べる四年制看護大学であり、こうした地域からのニーズに対応した教育を展開している点を PR し、学生の興味関心をもってもらう広報を展開する。更に、松本看護大学で学んだ結果、自分で課題解決ができる自立した看護師として、患者に寄り添い生活を支えることができる心のある看護師になれること、地域の健康を支える看護職者となれることをイメージしてもらう。加えて、地域の 322 施設にアンケートをした結果、86%にあたる 276 施設が松本看護大学に期待をしており、地域から求められている教育を展開している点も伝える。更に、保健師の受験資格が

得られる点や四年制大学を進学した後は大学院への進学の可能性のある点等のキャリアの幅が四年制大学では広いことも伝える。

2) 具体的な広報活動

本学は、学生確保のための取組みをさらに充実させるため、事務長を委員長とした広報企画推進委員会を設置し、10名～15名程度の教職員を任命する。広報企画推進委員会では学生確保の企画・立案、結果分析などを通じて広報活動の充実を図る。また、他大学の広報担当者との意見交換会を企画するなど情報収集も活発化させる。

広報活動の基本方針としては

- ①長野県を中心とする高校生に広く、本学のことを知っていただく活動を展開する（認知度アップ）
- ②本学に興味・関心があり、ホームページへのアクセス、資料請求、オープンキャンパス等に参加し、本学と接触のある学生により本学への興味・関心を高めて頂き、出願までつなげる（興味・関心度アップ）の2点とする。

松本看護大学の入学定員は松本短期大学看護学科と同一である点、松本短期大学看護学科では5カ年の平均で99%の入学定員の充足がみられることから、いままでと同様の数値目標で十分に入学定員を充足できる見込みであるが、よりアドミッション・ポリシーに則った学生を確保する観点から昨年と比較して1.1倍～1.2倍の志願者数を確保することを目標に広報活動に取り組むこととする。また、松本看護大学の母体となる松本短期大学看護学科には毎年80～100名の志願者がおり、うち30%～50%がオープンキャンパスに参加した学生であることから、オープンキャンパスへの誘導促進を主軸として広報活動を展開する。具体的には下記の取組みを通じて志願者アップを図る。

(1) 高校訪問

長野県に所在する高校に訪問し、高校教員への情報提供や情報収集を行う。訪問回数は年3回～6回を基本とし、訪問する高校は長野県全域を対象とするが、特に松本短期大学への入学実績の高い高校や、本学の位置する中信地区の近隣高校を重点高校とし、より頻度の高い訪問を行う。

(2) 広報関連制作物

松本短期大学では毎年600件前後の資料請求がある。資料発送時に同封する内容物をよりよくすることでオープンキャンパスへの参加、志願者増加を促進する。広報物の内容としては松本看護大学の説明、在宅・公衆衛生学を中心とした学びの特色、養成人材像と想定される就職先のPRに注力する。

(3) WEBサイト

松本短期大学では、毎年32,000件前後のHPへのアクセスがある。積極的にウェブ広報を活用し、認知を高め、興味・関心をもってもらうための活動を行う。ホームページ上で、

高校生が求める情報を頻繁に発信予定である。

(4) ダイレクトメール

オープンキャンパス参加や出願を促すため、学生の興味・関心に合わせ、必要に応じて発送を行い、オープンキャンパスの告知と誘導、入試案内による出願の促進を行う。

(5) 進学説明会・オープンキャンパス

高校生が進路を決定する夏頃を中心に進学相談会やオープンキャンパスを実施し、高校生や保護者が大学に直接触れる機会を多く設ける。また、外部業者が主催する進学説明会へも積極的に参画する。